

第七十九回帝國議會 院 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十七年一月二十四日(土曜日)午前十一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 信房君

理事岩瀨 亮君 理事濱地 文平君

理事森田重次郎君 理事森 幸太郎君

理事前川 正一君 理事松本治一郎君

今成留之助君 小串 清一君

川島正次郎君 北 勝太郎君

高田 耘平君 土田 莊助君

東郷 實君 成島 勇君

西方 利馬君 西川 貞一君

服部 崎市君 松浦周太郎君

村上 國吉君 山田 六郎君

山川頼三郎君 林 讓治君

淺沼稻次郎君 野溝 勝君

由谷 義治君 大石 大君

平野 力三君

同月二十三日食糧管理法(政府提出)(第三九號)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 三浦 一雄君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省水產局長 平岡 梓君

農林省蠶絲局長 石井英之助君

農林省食品局長 辻 謹吾君

農林省資材部長 岡本 直人君

農林書記官 笹山茂太郎君

食糧管理局長官 湯河 元威君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

木炭需給調節特別會計据置運轉資本臨時補足ニ關スル法律案(政府提出)

食糧管理法(政府提出)

○三善委員長 只今カラ開會致シマス、本委員會ニ付託サレテアリマス議案ハ、本炭需給調節特別會計据置運轉資本臨時補足ニ關スル法律案、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、食糧管理法、此ノ三案デアリマス、此ノ三案ヲ一括シテ審議スルニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○三善委員長 ソレデハ一括シテ御審議ヲ仰グコトニ致シマス

尙ホ此ノ際申上ゲテ置キマス、質問ニ付キマシテハ、質問者モ大分多數アラレラウデアリマスカラ、時間ハ成ベク長ク御興ヘシタイト思ヒマスケレドモガ、先ヅ三十分ニ致シタイト思ヒマス、其ノ時間ヲ成ベク嚴守シテ戴クヤウニ致シタイト思ヒマス、政府ノ方ニ於キマシテモ、時間ヲ成ベクコチラノ方デ短縮致シテ參リマスノデ、御

説明ノ如キハ成ベク簡明ニシテ戴クヤウニ御願ヒシマス、尙ホ資料ノ要求ガアリマスレバ理事ノ手計マデ御申出ヲ願ツテ置キマス——農林大臣ノ御説明ヲ求メマス

○井野國務大臣 本委員會ニ付託サレテ居リマス農林省關係ノ法律案ハ大體三ツゴザイマス、勿論特別會計ハ大藏省關係デアリマスケレドモ、實質上内容ガ農林關係デゴザイマスルカラ、私カラ御説明ヲ申上ゲタイト存ズルノデアリマス

先ヅ第一ニ木炭需給調節特別會計据置運轉資本臨時補足ニ關スル法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、本法律案提出ノ理由ハ本會議ニ於キマシテモ申上ゲタ通りデアリマシテ、木炭需給ノ現狀ニ顧ミマシテ、其ノ需給ノ圓滑ヲ期シマスル爲ニ、木炭需給調節特別會計ニ於キマシテハ、當時相當多量ノ木炭ヲ貯藏スルヲ必要ト致シマスル關係上、本會計ノ据置運轉資本額百萬圓ヲ以テシマシテハ、事業遂行上時ニ支障ヲ來ス虞ガアリマスノデ、据置運轉資本不足シマシタ時ニハ、九百萬圓ヲ限リ臨時補足シ得ルコトト致シマシタ、之ニ依リ同會計ノ圓滑ナル運營ヲ圖リマス共ニ、是ガ財源ハ借入金ニ依リコトト致シマスル爲ニ、本法律案ヲ提出致シマシタヤウナ次第デアリマス

次ニ米穀需給調節特別會計法中改正法律

付託議案
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五號)
木炭需給調節特別會計据置運轉資本臨時補足ニ關スル法律案(政府提出)(第一三號)
食糧管理法(政府提出)(第三九號)

案ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲマスガ、本案ハ本會議ニ於テ大藏大臣ヨリ御説明申上ゲマシタ通りデアリマシテ、今回、米穀等ニ關スル諸法律ヲ整備致シマシテ、食糧管理法ヲ制定致シマスニ伴ヒマシテ、從來ノ米穀需給調節特別會計法ノ名稱ヲ變更シ、昭和九年法律第二十九號附則第二項ヲ本文ニ吸收致シマシテ、之ヲ廢止スル等ノ整理ヲナスノ必要ガアリマスルノト、之ニ關聯シテ、國債整理基金特別會計法第二條第四項ノ米穀證券ヲ食糧證券ト改ムルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ食糧管理法ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、本法案ノ提出理由ハ本會議ニ於キマシテ其ノ概要ヲ申述ベタノデアリマスルガ、尙ホ本法律案ノ内容ニ付キマシテ三申上ゲタイト存ジマス、本會議ニ於テ申上ゲマシタ通り、本法律案ノ骨子ハ三ツノ點ニ歸スルノデアリマス

其ノ第一ハ、主要食糧ノ國家管理體制ヲ強化セントスルコトデアリマス、一昨年來政府ハ米穀ノ國家管理制度ヲ實施致シマシテ、次イデ麥類ニ付キマシテモ略、之ニ近イ制度ヲ實施シテ來タコトハ、御承知ノ通りデアリマス、何分ニモ初メテノ試ミデアリマスノデ、其ノ成果ニ對シマシテハ、色々心配モ致シテ居ツタノデアリマスガ、一年有餘ノ經驗ニ鑑ミマシテ將來ノ見透シモ付キマ

シタノデ、此ノ際此ノ制度ヲ整備強化致シテ参リタイト存ズルノデアリマス、即チ主要食糧タル米麥ノ確保ト云フコトハ、長期戰下ノ重大問題デアリバカリデナク、東亞共榮圈内ノ食糧事情ヨリ考ヘマシテモ、米麥ノ國家管理ヲ單ニ臨時應急ノ措置タルニ止ラズ、恆久的の制度トシテ確立スルコトガ緊要デアルト信ズルノデアリマス、即チ主要食糧ニ關スル限り、農民ガ安シテ生産ニ從ヒ得ルヤウニ、生産セラレタル米麥ハ、必ズ政府ガ之ヲ買フト云フ態勢ヲ明カニ致シマシテ、國民食糧ノ確保ト國民經濟ノ安定ヲ圖ラントスルノデアリマス

第二ハ、主要食糧ノ配給機構ヲ整備セントスルモノデアリマシテ、一面ニ於テハ殆ンド米ノミニ依存致シテ居リマシタ配給カラ、主要食糧ノ綜合的配給ニ移ラナケレバナラス必要ガアルト共ニ、配給機構其ノモノモ亦之ニ即應シテ恆久的ナル機構ニ制度化スル必要ガアルノデアリマス、是ガ爲ニ中央及ビ地方ニ食糧營團ヲ創設セシメマシテ、主要食糧ノ配給加工又ハ製造ニ携ハル業者ヲ其ノ傘下ニ統合セシメ、政府ノ特別ノ監督ノ下ニ主要食糧ノ綜合配給ニ關スル事業ヲ擔當セシメントスルモノデアリマス

第三ハ非常時食用食糧ノ貯藏ノ問題デアリマス、從來政府ハ空襲等ノ緊急事態ニ備フル爲ニ、非常時食用食糧ノ分散貯藏ヲ實施セシメツアルノデアリマスルガ、貯藏機關ハソレノノ物資毎ニ區々ニナツテ居リ、統一ヲ缺イテ居リマスルガ故ニ、之ヲ只今申上ゲタ食糧營團ヲシテ實施セシメ、何時如何ナル緊急ノ場合ニ於キマシテモ萬遺憾ナキヲ期セントスルモノデアリマス、其ノ他先程申上ゲマシタ米麥ノ管理制度ノ強化

ニ伴ヒ、其ノ検査制度等モ從來ノ如ク取引ノ客體ニ對シ第三者ノ立場カラ品質ヲ定メルト云フ意味ノモノカラ、政府ノ買上検査のナ意味ヲ多ク持ツコトナリマシタノデ、此ノ趣旨ニ即應スルヤウニ制度ヲ改メ、且ツ其ノ豫算ノ御協賛ヲモ御願ヒ致シテ居ルノデアリマス

以上ノ如キ理由ニ依リマシテ本法案ヲ提出致シタ次第デアリマスルガ、何卒御審議ノ上速カニ御可決アルルヤウ御願ヒ申上ゲマス

○三善委員長 資料ノ要求ガアリマスカ

○森田(重)委員 資料ノ要求ハアリマスカ、後デ理事ノ方デ纏メテ書面デ出シタイト思ヒマスカラ、サウ云フ風ニ御願ヒ致シマス

○三善委員長 ソレデハ午前中ハ質問ハ止メマシテ、午後一時カラ會議ヲ開クコトニ致シマス、午前ハ此ノ程度デ休憩致シマス
午前十一時四十二分休憩

午後一時十分開議

○三善委員長 ソレデハ只今ヨリ開會致シマス——服部崎市君

○服部(崎)委員 今回御提案ニ相成リマシタ食糧管理法案ニ關シマシテ暫ク御質疑ヲ申上ゲタイト存ジマス、先刻井野農林大臣ヨリ御説明ノアリマシタ如ク、本法案ガ主要食糧管理ノ強化ヲ圖ルト共ニ、増産體制ノ強化ト一面配給機構ノ整備ヲ圖リマシテ、中央地方ニ營團組織ヲ確立致シ、綜合的計畫配給ヲナスモノト思ハレマス、尙ホ之ニ附隨致シマシテ、非常時對策ト致シマシテ主要食糧ノ貯藏等ガ此ノ法案ノ趣旨デアルヤウニ思ハレルノデアリマス、戰時食糧政策ト致シマシテ、今回御提案ニナリマシ

タル本法案ノ立案ニ當ラレマシテ、熱意ヲ以テ本法案ヲ作成御提出ニナリマシタル點ニ付キマシテハ、深甚ナル敬意ヲ表スルモノデアリマス、私ガ先ヅ第一ニ御尋ネ致シタイト存ジマスコトハ、昨日西川議員ノ御質疑ニ對シマシテ、食糧ハ國內ニ於テ確保スルト云フコトヲ力強ク言明セラレタノデアリマス、固ヨリ食糧ハ帝國内ニ於テ自給計畫ヲ立テルコトガ必須ノコトデアアルコトハ論ヲ俟タヌコトト存ジマス、併シナガラ昨年十月三十一日現在ニ於テ第二回豫想收穫高ヲ御發表ニ相成リマシタ内地ノ生産豫想五千五百四十六万二千石ト拜見ヲ致シマシタ、然ラバ之ニ加ヘマサルニ、朝鮮ニ於ケル豫想ガ二千四百餘万石デアリ、臺灣ノ二期作ヲ加ヘマスト一千万石ト思ハレルノデアリマス、ソレニ八百三十九万石ノ持越米ヲ總計致シマシテモ九千七百九十五万石ト相成ルト思ヒマス、私ノ算定ガ誤ツテ居レバ訂正ハ致シマス、然ラバ、消費部門ヲ之ニ對照致シマスト、大體現在内地需要ガ八千万石ト言ハレテ居リマス、ソレニ朝鮮ノ千七百万石、臺灣ノ五百十餘万石ヲ加ヘマサルト、計一億二千餘万石ニナルノデアリマシテ、差引致シマスト、四百十五万石ノ不足數量ヲ示スモノト言ハナケレバナラヌト存ジマス、併シナガラ政府ノ之ニ對スル對策ト致シマシテ、先年來、酒造米ニ於テ百五十万石、七分搗ニ於テ百萬石、代用食ニ於テ約百五十万石ノ消費規正ガ行ハレテ居ル等デアルト思ヒマス、計四百万石ノ消費規正ガ茲ニ行ハレタト致シマスルナラバ、其ノ不足數量ハ僅々十九万石ニ過ギナイト思フノデアリマス、而モ其ノ上ニ昨年七月以來、六大都市ヲ含シダ

府縣ヲ初メト致シマシテ、主要都市ニ於キマスル主要食糧ノ消費規正ノ徹底ニ依リマシテ、又通帳制ノ割當配給ニ基キマシテ、大體一割乃至五分程度ノ消費規正ガ行ハレテ居ルモノト、斯様ニ思惟スルノデアリマス、假ニ五分ノ消費規正ガ出來タト致シマスナラバ、三百八十餘万石ニナリ、又一割消費規正ガ出來タト致シマスルナラバ、七百餘万石ノ數量ヲ次年度ニ持越スコトガ出來ルモノト確信ヲ致シマス、此ノ私ノ考ヘ方、此ノ見方ニ誤リナキヤ否ヤト云フコトヲ大臣ヨリ此ノ際ハツキリト承リマシテ、本法案ノ質疑ニ入りタイト思フノデアリマスカ

○井野國務大臣 米ノ需給推算ニ付キマシテハ、物動ニ關係致シマスノデ、政府當局ガ計畫致シテ居リマスル數字ヲ申上ゲルコトハ、或ハ秘密會等ニ於キマシテナラ出來マスガ、困難デアリマス、只今御見込ノ數字ニ付テ批評シロ、斯ウ云フコトデアリマスルト、ソレモ詳シイ批評ヲ申上ゲマスト、結局政府ノ數字ヲ申上ゲナケレバナラヌヤウナコトニナルノデアリマス、唯、今御話ノ中ノ消費規正ノ點ニ付キマシテ、酒米或ハ七分搗トカ色々ノ消費規正カラ四百餘万石ノ消費規正ガ出來ル、又一般ノ消費規正ガ五分程度ナラ三百八十万石出來ルト云フヤウナ、二段ノ消費規正ノ御考ヘヲ述ベテ居ラレマスガ、サウ云フ考ヘ方ハ一寸困難デハナカラウカ、各府縣ト色々打合セシテ居リマス消費規正ハ、結局七分搗其ノ他色々ノ方法ニ依ツテ規正スルモノヲ含メテ、下ノ程度消費規正スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、二ツノ方面ニ分テ規正ヲ御覽ニナルコトハ、政府ノ考ヘテ居リ

マス行キ方トハ違ツテ居ルト云フ點ダケヲ
申上ゲテ置キタイと思ヒマス

○服部(崎)委員 事物動ニ關係致シマスル
ノデ、詳細ナル御説明ヲ願フコトガ出來ナイ
コトハ遺憾ニ存ジマスガ、私ハ此ノ際篤ト
政府トシテ御考ヘニナラナクレバナラヌト
存ジマスルコトハ、此ノ戰時食糧政策ノ完
遂ヲ期シマス爲ニ、殊ニ今日程生産部門、
配給部門、消費部門等ノ理解アル協力ヲ致
サナケレバナラヌ時ハナイト思フノデゴザ
イマス、一面生産ニ對シテハ、配給部門カ
ラモ、又消費部門カラモ、人的、物的總テ
ニ協力ヲ致シマスルト共ニ、又配給部門ノ
整理統合ニ付キマシテハ、今回ノ此ノ法案
ニ依ツテ十二分ニ出來ルモノト、考ヘルノ
デアリマス、唯一ツ殘サレマシタモノハ消
費部門ノ協力體制デアルト考ヘマス、御承知
ノヤウニ今日ノ如キ消費規定ノ徹底ヲ圖ラ
シナケレバナラナイ、而モ配給致シマスル
其ノ物ハ數量ノ寡少ノミデナク、可ナリノ
粗惡ナ品ヲ配給セナケレバナラヌ事情等モ
アルト考ヘルデアリマス、サウシタ場合
ニ於テ消費部門ヨリ、配給部門ニ對シテ、
無理解ナル攻撃等ガ起リマスルナラバ、是
ハ容易ナラヌコトト考ヘルノデゴザイマ
ス、隨テ政府ハ一面生産ノ増強ヲ圖リ、又
配給ノ整備ヲ圖ルト共ニ、一面消費部門
ニ對シテヨリ善キ理解ヲ與ヘル爲ニ、何等
カノ指導方法ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘ
マス、是ニハ少クモ政府並ニ地方廳ニ於
テハ經濟警察タルト或ハ經濟部門タルト
問ハズ、相協力シテ消費者ノ理解アル指導
ニ當ルト云フコトノ必要ヲ痛切ニ感ズルノ
デアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ農林大
臣又ハ後刻内務關係ノ方デモオイデナリ

マシタナラバ、此ノ點ニ對シテハ特ニ御答
辯ヲ希望スルノデアリマス

○井野國務大臣 只今服部委員ノ御述ベニ
ナリマシタル點ハ、全ク私モ同感デアリマ
ス、今日ノ食糧體制ニ於キマシテ、生産部
門ト云ハズ、配給部門ト云ハズ、消費部門
モ協力シマシテ、此ノ難關ヲ突破シテ行カ
ナケレバナラナイコトハ御説ノ通りデアリ
マス、隨テ農林省トシマシテモ内務省トモ
色々連絡ヲ保チ、又農林省自體ニ於キマシ
テモ或ハ新聞ヲ通ジ、或ハラジオヲ通ジ、
現在ノ食糧事情ヲ國民ニ能ク懇ヘマシテ、
其ノ協力ヲ求メテ居ルノデアリマス、從來
食糧問題ニ關シマスルコトハ、兎角國民ニ
餘リ知ラサヌ方ガ宜イト云フ考ヘ方カ
ラ、其ノ實體等ニ付キマシテ、ハツキリ
言ハナカッタ時代モアツタノデアリマスケ
レドモ、現在ニ於キマスル農林省トシマシ
テハ、國民ニ現在ノ食糧事情ヲ能ク説明ヲ
シテ、サウシテ協力ヲ求メルコトノ方ガ適當
デアルト考ヘマシテ、今日ニ於キマシテハ
相當ニ米ノ出來高デアルトカ、又政府ノ持
ツテ居リマスル米ノ高デアルトカ、其ノ他
色々ノ事情ヲ能ク話シマシテ、其ノ協力ヲ
求メテ居ルノデアリマス、國民モ最近ニ於
キマシテハ非常ニ能ク我が國ノ食糧事情ヲ
理解シテ參リマシテ、從來色々アリマシタ
不平モ最近ニ於テハ非常ニ少クナツタヤウ
ニ考ヘルノデアリマス、又昨年ノ十二月八
日以後ニ於キマシテハ、從來私共ノ所ニ色々
ノ投書ノ來マシタモノモ殆ド來ナクナツテ、
國民ハ此ノ際一切不平ヲ忍ビ、此ノ征戰
目的ノ達成ニ邁進シタイト云フ氣持ガハツ
キリ現ハレテ參リマシタ、併シソレダケモ
吾ハ責任ヲ深く感ズルノデアリマス、國民

ニ不平ノ聲ガナイト云フコトヲ以テ吾々ハ
安シテハイカヌ、寧ロ不平ノ聲ノナイ今
日ニ於テハ、爲政者トシマシテ十分ニ注意
ヲ致シテ、サウシテ消費階級ノ理解ヲ以テ
此ノ難局ヲ突破シテ行カナケレバナラヌト
斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○服部(崎)委員 御説明ニ依ツテ能ク了承
致シマシタ、尙ホ内務關係ノ方ガオイデニ
ナリマシタナラバ一言申上ゲテ置キマスガ、
消費者ノ理解ヲ戴クコトモ十二分ニ出來ル
モノト存ジマスガ、今日地方經濟警察ニ於
ケル所ノ取締方針ト云フモノハ、其ノ方面
ニ缺クル所ガアルヤウニ思ハルノデゴザ
イマス、徒ラニ業者ノ小サナ問題ヲ取上ゲ
テ、故ラ之ヲ地方新聞等ニ發表シテ、大キ
ナ手柄デモ現ハシテ居ルガ如キコトヲセラ
ルル向ガアルノデアリマス、サウ云フ點ニ
付キマシテハ篤ト御留意ヲセラレマシテ、
協力ヲ願フヤウニ御配慮願ヒタイと思ヒマ
ス

次ニ食糧政策ニ付キマシテ二、三ノ點ニ付
キ御質疑ヲ申上ゲマス、第一ニ東亞共榮圈
内ノ廣域ナル經濟關係ニ於テ、食糧政策、特
ニ南方食糧政策ニ付キマシテノ政府ノ御方
針ヲ御伺ヒシタイノデアリマス、大東亞戰
爭ノ赫々タル戰果ニ鑑ミマシテ、豐富ナル
農産食糧資源ニ惠マレマシタ南方諸地域ノ
開發指導ニ對シマスル帝國ノ位地ハ極メテ
重大ナルモノガアルト存ジマス、帝國版圖
内ニ於キマスル食糧自給自足ノ方策ト、是
等南方食糧政策ト如何ニ調整シテ行カレ
ルカ、此ノ點ニ關シ御所見ヲ御伺ヒシタイ
ノデアリマス

○井野國務大臣 大東亞戰爭ノ緒戰ニ於ケ
ル赫々タル戰果ニ依リマシテ、東亞共榮圈

確立ノ見透シガハツキリ致シテ參リマシタ
ノデ、只今御述ベノヤウナ御意見ガ色々世
間ニモ行ハレテ居ルノデアリマス、併シ昨
日モ本會議デ西川議員ノ御質問ニ對シテ御
答ヘ申上ゲマシタ通り、政府ト致シマシテ
此ノ際食糧ノ全體的ノ綜合計畫ニ付キマシテ
ハ、固ヨリ種々ノ計畫ヲ今後モ考ヘテ行カ
ナケレバナラヌト存ジテ居リマスケレドモ、
主要食糧ニ付テハ、内外地ヲ通ズル日本帝
國內ニ於テ自給自足ノ政策ヲ執ツテ參ルト
云フコトニハ、事態ガ如何ニ發展致シマシ
テモ、變更致サナイ積リデアリマス、ソレ
ハ昨日モ申シタ通り、日本ノ農村ハ單ニ食
糧ヲ作ルト云フコトヲ使命ト致シテ居ルバ
カリデナク、大和民族ノ源泉トナル所謂人
的資源ノ涵養地デアルト云フ風ニ吾々モ考
ヘテ居リマシテ、今日我が國ノ陸海軍將兵
ガ赫々タル戰果ヲ擧ゲテ居リマス其ノ勇士
ノ多クハ、農村カラガ出テ居ルノデアリ
マス、是等ノ事態ニ見マシテモ、農村ト云フ
モノガ如何ニ高度國防國家ノ見地カラ大切
デアルカト云フコトハ、國民モ今日ハハツ
キリ認識致シテ居ルノデアリマス、隨テ内
外地ヲ通ズル自給自足ト云フコトヲ基準ニ
致シマシテ、總テノ東亞共榮圈内ニ於ケル
食糧政策ヲ樹立シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ
居リマス

○服部(崎)委員 南方作戰ノ進展ニ伴ヒマ
シテ皇軍占領地帯、或ハ皇軍作戰ニ協力致
シマスル地域ノ食糧資源ガ如何ナル方法ニ
依ツテ確保シ、且ツ之ヲ處理セラレル御考
ヘデアリマスガ、差當リ是等ノ南方地域ノ
食糧ヲ如何ナル機關ヲシテ取扱ハシムルノ
デアリマスガ、一定ノ方針ガナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、政府自ラ之ヲ處理

セラレルノデアリマス、民間ノ機關ヲシテ之ヲ處理セシメラレルノデアリマス、或ハ今回設立サル中央食糧管理團ヲシテ、内地ヘノ適當ナル交流ヲ企圖セラレルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテノ御所見ヲ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○井野國務大臣 南方ニ於キマスル食糧ニ付キマシテハ、如何ナル機關ヲ以テ之ヲ取扱フカト云フ御尋ネデアリマス、是ハ昨日企畫院總裁カラ豫算總會ニ於テ御説明申上ゲマシタ通り、軍ノ作戰過程ニ於キマシテハ、軍ノ特別ノ會計ニ於テ總テ南方ノ物資ハ取扱フコトニナツテ居リマス、隨テ食糧ニ付キマシテモ、軍政ヲ布イテ居リマス地域ノモノハ軍ガ先ヅソレヲ取扱ヒ、内地ニ持ツテ來ラレテ適當ナル機關ニ之ヲ配分スルト云フコトニナルと思フノデアリマス、唯佛印、「タイ」ノ米等ニ付キマシテハ、從來通り農林省ガヤハリ特別會計ニ於キマシテ之ヲ買取リマシテ内地ノ米ノ供給ニ充テル、殊ニ昨日モ申上ゲマシタ通り、相當ノ數量ヲ得マスレバ之ヲ貯藏ニ充テテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ東亞共榮圈各地域相互間ノ食糧交流ヲドウスルカト云フコトニナリマス、是ハ何等カ別ノ機關ガ必要ノヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ目下企畫院ニ於キマシテ色々案ヲ考ヘテ居リマス、マダ具體案ヲ得マセヌカラ、此處デ申上ゲルマデニハナツテ居リマス、サウ云ツタ考ヘデ進ンデ居リマスコトヲ御諒承願ヒタイと思ヒマス

○服部(崎)委員 内地ノ食糧行政ハ、昭和十四年秋以來治安上ノ見地ヨリ地方長官ガ絶大ノ權力ヲ握ツテ來タノデアリマス、本

法案ノ實施ニ當リマシテ斯カル所謂府縣割據主義ヲ是正スルノデナケレバ完璧ヲ期スルコトガ出來ナイと思フノデアリマス、之ニ對スル農林當局ノ御所見ハ如何デアリマス、即チ一昨年來ノ主要食糧需給逼迫時代ニ於テハ、各地方長官ガ國民ノ食糧確保ニ農林當局ト協力ヲ致シマシテ、彼ノ如キ危機ヲシテ能ク無事ニ切り抜ケ得マシタル努力ニ對シマシテハ、私共モ國民ノ一人ト致シマシテ感謝ト敬意ヲ表スルモノデアリマス、然レドモ其ノ後需給ノ偏傾稍、常道ニ復セル今日ト雖モ、過去ノ情勢ニ依リマシテ所謂府縣割據主義ノ傾向ガ主要食糧行政ノ上ニ殘ツテ居ル感ガアルと思フノデアリマス、本法ノ眼目ト致シマス主要食糧綜合配給ノ目的ヲ完全ニ達成致シマス爲ニハ、地方長官ノ協力ニ俟ツ所大ナルモノアルコトハ勿論デアリマス、併シナガラ府縣ハ中央ノ統制ニ服スルヲ必須條件トシナケレバナラスト深く考ヘルノデアリマス、政府ハ此ノ點ニ關シマシテ關係各方面ト完全ナル趣旨ノ徹底ヲ圖ラレタコトガアリマス、又ナケレバ將來御圖リニナル御考ヘデアリマス、御伺ヒヲ致シマス

○井野國務大臣 主要食糧ニ付キマシテ地方長官ガ絶大ノ權力ヲ持ツテ居ルト云フ御言葉デアリマス、現在ニ於キマシテハサウ云フコトハナイノデアリマス、ト申シマスノハ、主要食糧ニ付テハ一昨年末以來國家ノ管理ニ移シマシタ、國家ノ管理ニ移スト云フコトハ、農林大臣ノ權限ニ於テ主要食糧ヲ管理シテ行クト云フコトニナツタノデアリマス、隨テ地方長官ハ農林大臣ノ指揮監督ノ下ニ主要食糧ニ付テノ集荷配給ノ種々ノ仕事ヲヤツテ行クト云フコトニナリ

マシタノデ、今日ニ於テハ地方長官ガ絶對ノ權力ヲ持ツテ居ルト云フコトハナイノデアリマス、併シ農林省トシテハ、詰リ地方ニ於ケル色々ノ食糧事情ヲ能ク考慮シテ、其ノ地方ニ適スル集荷ナリ配給ナリヲ致スコトガ適當デアルト考ヘテ居リマス、デ、毎年大體米ノ收穫豫想ガ付キマシタ時ニ、地方長官ヲ集メテ個々ニ各府縣ニ於ケル需給關係ヲ相談致シ、其ノ相談ノ結果、集荷計畫ナリ配給計畫ヲ立テ、其ノ計畫ノ下ニ政府トシテ必要ナルモノハ各府縣カラ移シ、又必要ナルモノハ各府縣ニ配給スルト云フコトニシテ、今日デハ中央ガ統制シテ總テ集荷配給ノ計畫ヲ致シテ居リマス、所謂府縣「ブロック」ト云フコトハ主要食糧ニ關スル限りハナイモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○服部(崎)委員 次ニ食糧營團ノ性格ニ付テ御尋ネ申上ゲマス、中央食糧營團ニ統合サレル法人及ビ團體ハ如何ナル範圍デアリマス、又其ノ名稱ヲ此ノ際明カニセラレタイと思ヒマス

○井野國務大臣 中央食糧營團ハ、先程説明デ申上ゲマシタ通り、主要食糧ノ綜合配給ノ機關トシテ中央ニ設ケルノデアリマス、此ノ營團ヲ作リマシタ一ツノ狙ヒ所モ、先般來議會デ國策會社ノ整理統合ト云フコトガ種々御議論ニナツテ居ル點ニ鑑ミマシテ、今日マデニ出來上リマシタ種々ノ機關、一ツノ目的ニ纏マルモノハ成ベク纏メタイト云フ見地カラ、此ノ中央營團ニ對スル整理統合ヲ致ス考ヘデアリマシテ、大體六ツカ七ツノ機關ト考ヘテ居リマス、其ノ詳細ハ食糧管理局長官カラ申上ゲタイと思ヒマス

○湯河政府委員 中央營團ニ統合致シマスル機關ト致シマシテハ、法案ノ附則ニ勅令ヲ以テ之ヲ指定スルコトニナツテ居ル團體ガゴザイマス、ソレハ中央營團ニ入リマス、ニ解散ヲ必要トスル團體デアリマス、此ノ團體ノ指定ヲ致シマス、法律上ハ株式會社、工業組合、工業組合聯合會、商業組合、商業組合聯合會ト云フ種類ヲ指定致シテ居リマス、具體的ニハ法律施行ニ當リマシテ、十分其ノ取捨選擇ヲ誤ラナイヤウニシナケレバナラスと思ツテ居リマス、先ヅ第一ニ豫定致シテ居リマスノハ、日本米穀株式會社、全國製粉配給株式會社、其ノ外ニ例ヘバ精麥關係ノ日本精麥工業組合聯合會、又製麵關係ノ日本製麵工業組合聯合會、斯ウ云フヤウナ團體ガソレハ豫定サレルと思ヒマス、尙ホ全國米穀商業組合聯合會、是モ入ツテ來ルモノト思ツテ居リマス、併シ之ニ付キマシテハ何分ニモ其ノ下部ニアリマス地方ノ米穀商業組合聯合會ノ關係モアリマス、施行マデノ間ニ能ク其ノ事態ヲ見究メマシテ、處置ヲ執リタイと思ヒマス

○服部(崎)委員 然ラバ新タニ設立サレマス食糧營團ハ營利性ヲ脱シタル公共的配給機關タルノ劃期的大使命ヲ有スルモノデアリマス、此ノ點ガ爲ニ、此ノ點從來ノ國策會社トハ全ク本質的ニ相違ヲ致シテ居ルノデアリマス、名實共ニ新シキ配給機關ナケレバナラスト存ジマス、隨テ單ナル事業會社タルニ止マルコトナク、寧ロ重點ヲ精神的ノ訓練ト最少ノ物的、人的資材ヲ以テ、最大ノ配給效果ヲ擧ゲマス點ニ思ヒヲ致サナケレバナラスト思ヒマス、政府ハ此ノ點ニ鑑ミマシテ、從來ノ國策會社ニ見ルガ如キ官

僚化、非能率化ヲ矯正シテ、眞ニ血ノ通ツタ機關トスル爲ニハ、如何ナル用意ガアリマスカ、御伺ヒテ致スノデアリマス、即チ今回ノ配給機構ノ再編成ニ當リマシテハ、國策會社ノ整理ト云フコトガ重要ナ一要素デアルト思フノデアリマス、一例ヲ擧ゲマシレバ、過去ニ於ケル取引仲介ノ一手段トシテ生レマシタ日本米穀會社ハ、既ニ其ノ設立ノ瞬間ニ於テ本來ノ使命ノ大半ヲ達シテ居ルモノデアリマス、創立以來ノ業績ハ單ニ政府ト配給業者トノ間ニ在リシテ、口錢ヲ稼グ一ツノ「トンネル」會社タル以外ニ、米穀政策ニ如何ナル貢獻ヲ致シマシタカ、私共ハ寡聞ニシテ存ジマセヌガ、今回ノ營團設立ニ當リマシテハ、多年ノ修練ト經驗ヲ積ミマシタ民間業界ヨリ思ヒ切ツテ人材ヲ登用シ、國策會社再檢討ノ民意ニ應ヘナケレバナラスト考ヘマスガ、大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○井野國務大臣 中央食糧營團ノ機構並ニ運營ニ關シマス、只今ノ御所見ニ對シマシテハ、全ク私モ同意見ヲ持ツノデアリマス、今回ノ食糧營團ガ從來ノ株式會社の營利的ナ團體ト違ヒマシテ、或ル意味ニ於テハ國家ノ一機關トシテ働カナケレバナラス公共的ノ性質ヲ多分ニ持ツテ居リマス、隨テ今御述ベニナリマシタ、精神ノ指導並ニ訓練ト云フコトニ付キマシテモ、此ノ中央營團ガ自ラ當ルベキ機能ヲ持タセタイ、其ノ爲ニハ或ハ指導部デアルトカ、或ハ訓練部デアルトカ、名前ハ別トシテモ、兎モ角特別ノ指導訓練部ヲ設ケマシテ、其ノ統制ノ下ニ各府縣ノ從來ノ業者ヲシテ公的ナ國家使命ニ協力スルト云フ氣持ヲ、精神のニ喚起セシメタイト考ヘテ居ル次第デアリマ

ス、隨テ是ガ機構ノ編成ニ當リマシテハ、只今御述ベノ通り、民間ノ經驗者ヲ十分ニ加ヘテ、其ノ運營ヲ適正ナラシメテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○服部(崎)委員 御説明ノ趣旨ハ私共モ全ク其ノ通りニ考ヘルノデアリマス、然ラバ食糧營團ノ構成タル主要食糧關係ノ業者ヲシテ所謂士魂商才ノ眞ニ公共的配給員タラシメマスル爲ニ、其ノ自覺ニ俟タナケレバナラスコトハ、大臣ノ御説明ニ依ツテモ能ク分リマス、只今ノ御説明ノ中ニモアリアマシタ如ク、是ガ爲ニ必要ナル指導部或ハ訓練部ト云フモノヲ御設ケニナル御考ヘノアリマスルコトモ、全然私共同意見デアリマス、然ラバ此ノ點ニ關シマシテハ、全國米穀業者ノ中央團體デアリマスル全米商聯ガ今日マデ行ヒ來リマシタ指導方針及ビ實踐方策等ヲ中央營團ニ於テ踏襲サレマスル用意ハアリマスカ

○井野國務大臣 中央食糧營團ニ於キマシテハ、只今申上ゲマシタ通りノ態勢デ參リタイト考ヘテ居リマスガ、是ガ出來マシテカラ、如何ナル方針ナリ或ハ手段ヲ以テ臨ンデ參ルカト云フコトハ、之ヲ運營スル人ノ考ヘニ或ル程度ハ任セナケレバナラスト考ヘテ居リマス、併シ今日全米商聯ガ全國ノ米穀配給ニ對シテ盡サレマシタ御盡力ト效果ニ對シマシテハ、政府モ甚大ノ敬意ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、隨テ其ノ方針ヲドウ變更スルカ否カト云フコトハ今申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、大體ニ於テ從來ノ方針ヲ踏襲シテ參リタイト云フコトニ政府トシテハ考ヘテ居リマス

ノ事業ハ本法第十九條ニ依リマシテ、主要食糧ノ買入並ニ賣渡ヲナス規定サレテ居リマス、本法ニ於テ主要食糧トハ此ノ法案第二條ニ於テ、米麥其ノ他勅令ヲ以テ定ムル食糧ヲ謂フタルノデアリマシテ、中央營團ハ當然米穀ノ買入賣渡ヲナスモノト思フノデアリマスガ、聞ク所ニ依リマス、米ハ取扱ハナイト云フコトデアアルヤニ承リマス、或ハ内地米ハ扱ハナイガ外地米、外國米ハ之ヲ扱フノデアリマスルカ、若シ然リト致シマスルナラバ、何故ニ米ニ付キ内地米ニ付テハ除外例ヲ設ケラレマシタカ、其ノ理由ヲ御伺ヒ致シタイト存ジマス、又斯カル處置ハ暫定的ノモノデアリマスルカ、又ハ恒久的ノ御考ヘデアリマスルカ御伺ヒテ致シマス

○井野國務大臣 中央食糧營團ノ事業ト致シマシテ、主要食糧ノ買入賣渡ヲナスコトハ、此ノ十九條ニ示シテアル通りデアリマスガ、此ノ主要食糧ノ中ニ米ガ入ルカ否ヤト云フ御尋ネデアリマス、只今御述ベノ通り、内地米ニ付キマシテハ、現在政府ニ於キマシテ特別會計ヲ設ケ、政府自ラガ全部ノ米ノ買入レヲ致シテ居リマス、サウシテ其ノ米ヲ地方ニ直接ニ配給スル制度ヲ今立テテ居リマス、隨テ中央機關ヲ通スト云フコトニ現在ノ狀態デ致シマスルト、唯手數料ヲ加ヘルト云フダケニナリマスノデ、サウ云ツタ手數料ガ徒ラニ多クナルト云フ點ニ付キマシテハ、成ベク避ケタイト考ヘマシテ、内地米ノ扱ヒニ付テハ中央食糧營團ガ現在ニ於テ扱ハナイト云フコトニ、方針トシテハ決メテ居リマス、併シ外國米及ビ外地米ニ付キマシテハ、中央食糧營團ガヤハリ扱フ、是ハ特別會計ヲ買入レマスニ致

シマシテモ、ソコニ中央食糧營團ヲ通シマシタ方ガ便利デアリ、且ツ利益ノ多イ點ガ色々アリマスノデ、サウ致サセタイト考ヘテ居リマス、然ラバ是ハ臨時の處置デアアルカ、或ハ恒久的ニサウ云フ風ニ行クノデアルカト云フコトニ付キマシテハ、食糧管理ノ實體ニ即シマシテ、其ノ事情等ニ應ジテ、政府トシテハ適當ニ今後モ考ヘテ參リタイト思ツテ居リマス

○服部(崎)委員 内地米ヲ扱ハスト致シマシレバ、中央營團ハ主要食糧ノ綜合的配給ヲ使命ト致シマスルノニ拘ラズ、主要食糧ノ七、八割ノ分量ヲ占メマスル米ヲ除外シテハ、綜合配給ノ意義ガナイヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、殊ニ現在ノ日本米穀株式會社ノ如キ末路ニナルノデハナイカト云フ心配モアルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ如何ナル御考ヘテ御持チニナツテ居リマスカ

○井野國務大臣 中央食糧營團ガ内地米ヲ扱ハスト申シマシテモ、其ノ外ニ主要食糧ノ相當部分ノ多クノモノヲ扱フノデアリマス、例ハ麥ニ致シマシテモ、此ノ中央食糧營團デ、政府ガ買ツタ麥ヲ買受ケマシテ、サウシテソレニ精麥ヲ致スナリ、或ハ製粉ヲ致シテ、其ノ出來上リマシタ製品ヲ地方ノ食糧公社ニ配給シテ行ク、而モ政府ト能ク配給計畫ノ連絡ヲ執リマシテ、抱合セ的ニ種々ノ配給ヲ考ヘテ行ク、又其ノ他雜穀等ニ付キマシテモ、他ノ機關ガ持チマシタモノヲ之ニ取入レマシテ、サウシテ綜合的ノ配給ヲ致シテ參リタイト云フ意味ニ於テ、中央食糧營團ノ一ツノ大キナ機能ガアリ得ル譯デアリマス、他ノ一ツノ大キナ機能ハ、空襲下ニ於ケル所ノ食糧ヲ一ツノ機關ニ於

テ保管スルト云フコトガ適切デアリマスル

アリマスカ

シテ参リタイト考ヘテ居リマス

此ノ機會ニ更ニ申上ゲテ置キマス、服部君

ノデ、從來區々ノ機關ガ持ツテ居リマシタ

中央地方ヲ分ケズ一個ノ機關ニスル方ガ適

〇三善委員長 服部君マダアリマスカ、成

ハ大分時間ガ長クナリマシタノデ今度一同

空襲下ノ非常時貯藏用ノ食糧ヲ、今回ハ中

當デハナカラウカト云フ御意見デアリマス

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

ラ御迷惑デアリマセウガ其ノヤウニ御答辯ヲ

決シテ此ノ中央食糧營團ガ空ナ存在ニナル

政府トシテハヤハリ現狀ニ即シテ行キ方ヲ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

願ヒマス

ト云フコトハナイノデアリマス、只今御言

マシ、現在御承知ノ通り各府縣ニハ業者ヲ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

組織サレ、中央ト地方營團ハ固ヨリ一貫性

ノ整理ノ爲ニ出來タノデ、餘リ存積ノ價值

ノ團體ト中央ノ食糧營團トガ結び付キマシ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

今日企業合同ヲ實施致シマシテ、自治的ニ

マシタ沿革ハ勿論御述ベノ通り沿革デ出

テ、地方々々ニ一ツノ食糧營團ヲ作ツラ参リ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

其ノ機構整備ヲ實施致シマシテ、且ツ消費

來タノデアリマスケレドモ、出來タ後ニ於

マスコトノ方ガ現狀ニ即シテ居ルノデアリ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

規正、配給ノ完遂等本法ノ目的タル國民經

テハ、或ハ外地米ノ移入ニ付キマシテモ、

ニ致シタノデアリマス、運賃ノ上ニ於キマシ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

濟ノ安定ニ挺身從事シツアルノデアリマ

或ハ外國米ノ取扱ヒニ付キマシテモ、亦之

テモ此ノ形ノ方ガ十分ニ其ノ機能ヲ發揮シ得

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

テ占メマスル米穀ノ割合ヨリ致シマスル

アリマス、隨テ現在ノ米穀會社ト雖モ、決

又既ニ米穀商業組合關係ニ於キマシテ經營

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

此ノ米穀業者ノ經驗能力ヲ十分ニ活用致サ

シテ恣意杜撰ノ形ハ採ツテ居ラナイノデア

致シテ居リマスル米糠搾油事業、其ノ他副

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

體ニハ如何ナルモノヲ中心トシテ組織サレ

一切サウ云ツタヤウナモノヲ統合シテ一ツ

產物處理事業ハ總テ營團ニ於テ繼承サレマ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

ルノデアリマスルカ、御伺ヒ致シマス

ノ機關ニ致シマスレバ、完全ナ機能ガ發揮

出ルカ、御伺ヒ致シマス

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

シテハ主要食糧ノ綜合配給ヲ致シマス關係

出來マスノデ、斯ノ如ク統合致シタノデア

付ケル考ヘハナイカドウカト云フ御話デア

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

上、從來ノ如ク米穀業者ダケデ組織スルト

リマスルカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

云フ譯ニハ參ラスト考ヘテ居リマス、或ハ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

加ヘテ、地方營團ヲ組織シテ参リタイト考

御願ヒ致シタイト存ジマス

〇三善委員長 服部君、一寸申上ゲテ置キ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

傾向ニ進ンデ參ルコトト考ヘテ居リマス

マスガ、先程申シマシタ時間ヲ成ベク嚴守セ

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

〇三善委員長 午前中ノ會議ノ際ニ申合セ

食糧ノ配給機關ヲ統合スル場合ニ、ソレ等

ノ配給ノ範圍ハ米麥消費規正ノ爲ニスル

ヲ御質疑下サルヤウニ御願ヒシテ置キマス

〇服部(崎)委員 米麥ガ國家ノ實質的專賣

〇服部(崎)委員 食糧營團ノ構成ニ付キマ

眞ノ補正食糧トシテ家庭ニ配給サル部門

ニ限定スルノカ、ソレトモ例ヘバ一旦加

工業者ノ手ニ渡リマシテ製品トナツテ配給サルル菓子、豆腐、味噌等は等ノ配給モ併セテ行フノデアリマスカ、御伺ヒスルノデアリマス

次ニ若シ一般家庭へ代用食トシテノ配給ニ止マルト致シマスルナラバ、假令專業者ニアリマシテモ其ノ取扱高ノ一部デアリマスルシ、又乾麵、甘藷、馬鈴薯ノ如ク干物商、八百屋ノ取扱商品ノ一部ヲ統合スル場合、是等當該業者ノ地方營團ヘノ出資ヲ個人出資トスルニハ非常ニ面倒ヲ伴フト思ヒマス、隨テ是等ニ對シマシテハ、一括シテ當該業者團體ノ團體出資トシテ取扱フセラ

ルノデアリマスルカ、御伺ヒスルノデアリマス
次ニ地方營團ヘ產組ノ出資ヲ認メネバナラス場合ガアリト致シマスレバ、當然實績ノ範圍内ニ於テ團體加入セシムルヲ可ト致シマスガ、之ニ對シテ政府ノ所見乃至方針ハ如何デアリマスルカ、御伺ヒスルノデアリマス

次ニ食糧營團ノ實績補償ニ付テ御伺ヒ致シマス、地方營團ニ統合サレル關係業者ニ對シマシテ實績補償ニ相當スル處置ヲ如何ナル方法ニ依ツテ認メラレルノデアリマスカ、地方營團ニ統合サレル米穀業者初メ關係業者ハ非營利公共機關ノ公務員トシテ重大ナル責務ヲ負荷サレルノデアリマス、本法中ニ於テモ極メテ強大ナル罰則規定ニ依リマシテ束縛サレナケレバナラスノデアリマスルガ、之ニ對シマシテハ當業者ハ固ヨリ今日此ノ時局ニ鑑ミマシテ覺悟ハ致シテ居ルノデアリマスガ、然ラバ其ノ一面ニ於ケル最低ノ生活ハ之ヲ國家ニ於テ保證スルノハ當然ノ處置ト考ヘルノデアリマ

ス、此ノ點ニ對シマシテハ如何ナル方式ニ依リマシテ實績ノ補償ニ代ル方途ガアリマスルカ、御伺ヒ致シタイノデアリマス、尙ホ米穀業者ノ如ク早くヨリ企業合同ニ依リマシテ合理的經營ヲ行ヒ來リ、更ニ今回其ノ全營業ヲ抛ツテ丸裸ニナツテ國家ノ公務員トシテ挺身スル者ト、自己ノ商品ノ一部ヲ、或ハ事業分量ノ一部ヲ統合サル營業者ノ場合トハ其ノ受クル生活上ノ影響ニ大キナ開キガアルノデアリマス、是等ヲ同一基準ト致シマシテ實績ヲ補償スルコトハ不公平ナリト考ヘルノデアリマス、仍テ兼業者或ハ一部ノ統合サル業者ニ對シマシテハ、是亦團體的實績トシテ認ムルヨリ方途ガナイト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマスル御所見モ承リタイノデアリマ

ス
次ニ營團ト食糧國防團トノ關係ニ付テ簡單ニ御尋ネ致シマス、食糧國防團ト食糧營團トノ關係ニ付キマシテハ、政府ハ如何ナル御所見ヲ持ツテオイデニナルノデアリマスルカ、空襲下ノ食糧國防團員ノ災害ニ付テハ戰時災害保護法ノ對象タリ得ルノデアリマスルカ、如何デアリマスルカ、將來此ノ點ニ對シテ如何ナル考慮ヲ拂ツテ居ラレマスルカ、御伺ヒマシマス

次ニ中央食糧營團ノ役員ト地方食糧營團ノ役員トハ場合ニ依リマシテハ兼職ヲ許サル必要ガアルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ御所見モ伺ヒタイト存ジマス、中央食糧營團ニ參與理事制ヲ置カレマスル意思アリヤ否ヤ

尙ホ最後ニ國營檢査ノ實施時期ヲ此ノ際明示サレタイト思フノデアリマス
而シテ本法ノ運營ニ當リマシテハ、是ガ

管理、指導ノ任ニ當リマスル必要上、道府縣ノ廳内ニ食糧課ヲ新設セシメテ、ソコニ總テヲ統合シテ指導サルル必要ガアルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマスル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、是デ大體私ノ質疑ハ終了致スノデアリマス、質問ノ各項目ニ對シマシテハ、ソレレノ御答辯ヲ願ヒマス

○井野國務大臣 只今十三項ニ互リマシテ御質問ガアリマシタガ、取纏メテ御答ヘバ申上ゲマス

一カラ四ノ問題ハ、食糧營團ニ對シテ米穀業者ヲドウ取扱フカト云フ御尋ネニ盡キルト思フノデアリマス、結局出資等ニ付キマシテハ、御希望ナラバ相當ニ米穀業者ノ出資ハ認メタイト考ヘテ居リマス、但シ出資ヲ致シマシタカラ、必ズシモ役員關係ニ於テソレニ比例シテ出スト云フコトニハナラスト思ヒマス、ト申シマスノハ、今回ノ營團ハ出資ニ應ジテノ機能ヲ發揮スル團體デハナクシテ、出資ヲ離レテ公共的ノ性質ヲ持ツテ居ル所ノ團體デアリマスカラ、其ノ點ハ誤解ノナイヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、設立委員等ニ付キマシテモ十分米穀業者ノコトハ考慮致シマス、又食糧管理委員會等ニ付キマシテモ考慮致スコトハ當然デアリマス

第五ノ補正食糧ノ限度ニ限ルヤ否ヤ、即チ地方食糧營團ノ扱ヒマスモノハ、米麥以外ハ補正食糧ノ限度ニ限ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、大體今政府ノ考ヘテ居リマス方針ハ、其ノ限度ニ止メタイト考ヘテ居リマスケレドモ、尙ホ實行ノ上ニ付キマシテ此ノ點ハ考慮致シタイト考ヘテ居リマス、又其ノ補正食糧ヲ扱ヒマス商人ガ加入シマ

ス時ノ出資關係、其ノ他色々御質問ニ對シマシテハ、是ハ實行ニ當リマシテ能ク政府トシテモ色々考慮シテ參リタイ、今此處デドウスルト云フコトヲ申上ゲルマデニハナツテ居ラナイノデアリマス

實績補償ノ問題ニ付キマシテハ、食糧營團ノ性質上公共的性質ヲ持ツテ居リマスルカラ、實績補償ト云フコトヲ以テ取扱ツテ參ル譯ニハ參ラスト考ヘマスガ、併シ過去ニ於ケル業者ノ種々ノ事情等モ考慮シナケレバナリマセヌノデ、共濟的ナ施設トシテ何等カノ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス、又補正食糧ヲ扱フ商人トシテ加入シマス場合ノ實績補償等ノ問題モ、是ハ後日ノ問題トシテ考慮致シタイト考ヘテ居リマス

食糧國防團トノ關係ハ、先程申上ゲマシタ指導機關ヲ併置致シマシテ、中央食糧營團ニ於テ其ノ方面ノ機能ヲ發揮シタイト考ヘテ居リマスカラ、其ノ方面ト十分結付クヤウナ機構ヲ作リタイト考ヘテ居リマス、中央、地方ノ役員ノ兼任或ハ參與、理事ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、マダハツキリ決メテ居リマセヌ、實情ニ即應シテ考ヘテ參リタイト思ツテ居リマス

國營檢査ノ實施期ニ付キマシテハ、本法律案ノ御協賛ヲ經マスレバ、成ベク速カニ實施致シタイト考ヘテ居リマス地方ニ食糧課ヲ設クルヤ否ヤト云フ問題モ、其ノ運營ノ傾向ニ從ヒマシテ十分考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○三善委員長 濱地文平君

○濱地委員 先ヅ議事進行ニ關シテ御質問ヲシテ置キタイト思フノデアリマス、一人前ノ質問時間ハ大體三十分ト云フ決メデアリマシタノデスケレドモ、今服部君ノ質問

時間ハ一時間以上ニナツテ居リマス、質問スルノモ結構デアリマスガ、成ベク決メタコトヲ決メテ通りニシテ戴キタイと思フノデアリマス、今後其ノ決メテ通りニセナイ方ガアツタ時ニ於テ、委員長ハドウ云フ風ニ御取扱ヲシナサルノデアラウカ、之ヲシツカリトシテ置イテ戴キタイと思フノデアリマス

○三善委員長 午前中御出席ノナカツタ方モ居ラレマスノデ、委員長カラ申シマシタコトガ十分マダ徹底シテナカツタノデアアルト思ヒマシタノデ、先程注意致シマシタガ、今後ハ時間ヲ嚴守シテ貰ヒタイ、長クナリマス場合ハ、委員長ニ於キマシテ注意致シテ、發言ヲ御止メシテ貰ヒタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○濱地委員 成ベク制限ノ時間内ニ質問ヲ終リタイト思ヒマス、私ハ此ノ食糧問題ニ付テデアリマスガ、此ノ食糧問題ハ大變上手ニヤツテモ行詰ル場合ト、大變上手ニヤツタ場合ニハ絶對ニ行詰ラナイ場合ト、二色アルト思フノデアリマス、ソレハ「ドイッ」ヤ「フランス」ニ於テハドレダケ上手ニヤツテモ行詰ル時期ガ來ルデアラウシ、我が千五百秋瑞穂國ニ於キマシテハ上手ニヤリサヘスレバ斷ジテ行詰ラナイモノデアルト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、ソレハ何故カト申シマスルト、大和民族ノ主要食糧ハ米デアルト云フコトヲ 天照大神様ハ御決メニナツテゴザルノデアリマスルカラシテ、本來カラ申シマスルナラバ、人口ガ二千万ノ時ニハ二千万ニ必要ナオ米ガ穫レルノニ違ヒガアリマセヌ、五千万ノ時ニハ五千万ニ必要ナオ米ガ穫レルノデアリマシテ、一億万人ニナツタラ必ズ一億万人ノオ米ガ穫

レルモノナリト私共ハ神様ヲ信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ今日只今ノ如クオ米ガ不足スルト云フコトハ、何カソコニ政府ノ食糧政策ニ關スル缺陷ガアルノデナイカト思フノデアリマス、若シ人ガ殖エテ作付反別ガ之ニ適應セナイト云フ事實ガ伴フ場合ニ於テハ、即チ祖神ノ垂示ニ基キマシテ、人ガ殖エルニ從ツテ米ヲ作ル地盤ガ我が日本ニ段々殖エテ來ルノデアリマス、例ヘバ半島ニ於テ然リ、滿洲ニ於テ然リ、臺灣ニ於テ然リ、今ヤ一億万人ノ人口ヲ支ヘテ行カウトスルノニハ、東亞共榮圈ハ神ノ命令ニ依ツテ擴大セラレマシテ、必ズ食糧問題ハ解決セラルベキモノナリト云フ自信ヲ私共ハ持ツテ居ルノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ何時モ日本民族ノ食糧問題ハ、積極的デ宜イト思フノデアリマスガ、今マデハ國內ニ於キマシテ或ハ米ガ穫レ過ギタト言ウタリ、或ハ米ガ穫レナカツタト言ウテ、其ノ時其ノ時ノ間ニ應ジテ、政策ヲ變更シテ居タノデアリマス、例ヘバ桑ヲ拔カシタリ、又桑ヲ植エサセタリシテ、農民ヲ政府ノ政策ノ好キナ通りニシタリ、土地ヲ好キナ通りニシテ虐待シテ居ル傾向ヲ見ルノデアリマス、今日只今田舎ヘ行キマシテ、アノ折角植エタ桑ヲ機械デ無理矢理ニ抜イテ居ル所ヲ見ルト、私共ハ農民ニ對シテモ桑其ノモノノ生命ニ對シテモ、涙ナクシテ見ラレナイト思フノデアリマスガ、是等ニ付キマシテ政府ハ如何様ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレノデアリマスカ、私ハ積極的ニ政策ヲ進メテ行クノデナケレバ駄目ダト思フノデアリマシテ、國內ダケニ依ツテ其ノ時其ノ時ノ政策ヲ變ヘテ、其ノ通りニ農民ヲ驅使シテ行クト云フコトハ、原則ニ背イタク

トデアルト思フノデアリマス、桑ヲ植エテアツタナラバ桑ヲ植エサシテ置イテ、其ノ上ニ更ニ積極的ニ米ヲ作ルヤウナ方針ヲ確立シテ行カケレバ、日本ノ食糧問題ニ關スル進歩ト云フモノハ、何處ニモナイ、此ノ原則ヲシツカリト決メテ行カケレバナラヌト思フノデアリマス、日本民族ノ前進ニハ消極退嬰ノ政策ト云フモノハ何時ノ世ニモアリ得ナイノデアリマシテ、斷ジテ東亞共榮圈ニ進ミ、世界新秩序ニ進ミツツ此ノ食糧問題ヲ解決シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、茲ニ私トシテ承知シテ戴キタイコトハ、日本民族ノ米食ト云フモノハ、是ハ元來ハ白米デナクシテ玄米デアアルコトガ原則デアルト思フノデアリマス、即チ神ノ心ハソコニアルノデアリマシテ、白米食ヲナス時ニ於テ初メテ神ノ心ニ背イテ、食糧問題ノ行詰リノ發足ヲ成シタモノデアルト私ハ思フノデアリマス、近頃ノ人ガ玄米ヲ食ベタラ胃ノ消化力ガナクナツテ居ルカラ、逆モヤリ切レヌデアアラウト思ヒマス、是ハ白米食ニ慣レテシマツタカラ、玄米食ハ食ベラレナクナツタノデアリマス、ダカラ先ヅ其ノ胃袋ノ作用ヲ昔ニ還スコトガ新體制ノ原理デアルト思フノデアリマシテ、取敢ズ日本民族ノ胃袋ヲ七分搗ミ慣レサセテ、ソレデ玄米食ニ進メテ行ク必要ガアルト私ハ思フノデアリマス、全國民ガ一日ニ一椀ノ飯ヲ節約スルト、一千五百万石浮イテ來ルノデアリマスガ、サウ云フ節約ト云フヤウナ無理ナコトヲセズトモ、本當ニ玄米食ヲヤレルヤウニナリマシタナラバ、腹ヲ減ラシテマデモ節約セナクテモ、玄米食ヲヤレバ必ズ腹ヲ膨ラシナガラ、二千万石以上ノ米ガ浮キ出テ來ルモノデアルト思フノデアリマス、

ソレハ搗キ減リヤサウ云フ程度ダケデハサウマデモ出ナイデセウケレドモ、此ノ腹加減ハ十分ニ直キニ腹ガ膨レマスカラ、二千万石以上ハ出テ來ルト私ハ見透シヲ付ケテ居ルノデアリマスガ、是ハ國民保健上カラ申シマシテモ、極メテ必要ナコトデアルト思フノデアリマス、尤モ胃ノ關係ヲ關係ナドデ、直チニ以テ玄米食ニ決メルコトハ困難ナ事情ガアルデアアラウト思ヒマスカラ、少クトモ七分搗米ヲ徹底的ニ法律デ決メナケレバイケンイト思フノデアリマス、今日田舎ヘ行キマス、純白ノ米ヲ御馳走スルノデアリマス、昔ハ農民ハ黒イ米ヲ食ベタノニ拘リマセズ、米穀問題ノサ中ニナツテ、却テ皮肉ニモ面白半分ト云フカ、純白ノ米ヲ都會カラ來タ者ニ、誇リ顔ニ食ベサスト云フコトガ多イノデアリマス、農相ノ御生レニナツタ地方ニ行ツテモ其ノ例ガアルノデアリマシテ、七分搗獎勵ノ時ニ却テ逆效果ヲ來シテ居ルト云フコトハ、米穀政策ノ何處カニ或ハ大キナ缺陷ガアルカラダト思フノデアリマスガ、其ノ缺陷ハ何處ニ「ボイント」ガアルノカ、農相ハ知ツテ居ラレルノカ、ソレヲ先ヅ承ツテ置キタイト思フノデアリマス、七分搗米ニ對スル法律規則ニ付テ御知ラセテ願ヒタイノデアリマスカ、其ノ他實行方法ニ付テモ、御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

次ニ縣外移出米ノコトデアリマスガ、縣内ニ於テ必要量ト看做シタモノノ餘分ハ、政府ヘ供出スル譯デアリマスカレドモ、其ノ外ニ米ヲ産スル縣デハ各戸ノ農家ノ食ヒ溜メト云フモノガアルト思フノデアリマスカ、此ノ食ヒ溜メヲ縣外又ハ自分ノ村以外ノ所ニ持出シテ、親類ヤ友人ニ融通スルコ

トハ、私ハ少シモ惡イコトデハナク、寧ロ
是ハ獎勵スベキモノデアリト思フノデアリ
マス、餘ルカラ持出スノデアリマシテ、不
足シタラ中々減多ニ持出スコトハナイノデ
アリマス、官僚統制デハ一升ヲ五合ヅツニ
分ケルノニ、此ノ米ハ幾粒ヅツニ分ケルカ
ト云フ風ニ勘定スルノガ、所謂官僚統制ノ
机上ノ計畫デアルト思フノデアリマス、實
際ヤツテ見ルト一升ノ米ヲ分ケルノニ一
粒、十粒、百粒ト云フ零レガアリマス、又
必ズ多イ少イガ實際問題トシテ生ズルノデ
アリマス、之ヲ全國的ニ考ヘマスナラバ大キ
ナ石數デアルト思フノデアリマスガ、此ノ石
數ハ各農村個人々々ノ自由處理ニ任セナケ
レバ、法律バカリデ茲マデ括ツテ行カウト
スルト、其ノ石數ノ行ク所ガナクナルノデ
ハナイカト思フノデアリマス、即チ之ヲトコ
トシマデ取締ラウトスルト、其ノ餘分ノ石數
ノ行ク所ハナクナツテ、茲ニ色々逆效果
ヤ弊害ガ現ハレ、又米ノ無駄ナ流レガアツ
タリ偏ツタリスルコトニナツテ來ルノデア
リマスカラ、政府ハ個人ノ餘分米ノ持出シ
付テ、何カモツト良キ御考ヘヲ持ツテ居
ラレスカ、之ヲ聽キタイノデアリマス、例
ヘ旅行スル者、又病人ノ所ニ持ツテ行クモ
ノ、或ハ親類ニ持ツテ行ツテヤルモノニ付
キマシテ、御考ヘヲ願ヒタイト思フノデア
リマスガ、尤モ此ノ事ハ地方長官ノ權限ニ
屬スルコトデアアルカモ知レマセヌケレド
モ、農林大臣トシテノ御所見ヲ承リタイト
思フノデアリマス、是ハ例デアリマスケレ
ドモ東京ナドデハ或ル女バカリノ世帯デ、
米ハ一日一人前一合半アレバ結構デアルト
云フ家庭ガアルノデアリマス、サウシテ町
内會ニ對シテ、自分ハ一合半デ結構デスカ

ラ、此ノ程度ノ配給ヲシテ貰ヘバ宜シイ、
殘ツタモノハ國家ノ爲ニコチラハ貰ハナク
テモ宜シイト言ヒマシテモ、町内會デハヤ
ハリ配給ダケハ貰ツテ置ケ、サウデナケレ
バ此ノ次ニ吳レト言ツテモ吳レマセヌゾト
言ツテ、結局餘ツタ米ハ近所ニ吳レテヤル
トカ、賣ルトカ云フヤウナコトモアルノデ
アリマス、規則ガ末ノ末、枝ノ枝マデ行ケ
バスウ云フコトニナツテ來ルノデアリマ
ス、先ニ申シマシタ農村ノ問題ト此ノ東京
ノ問題トハ表裏デアリマシテ、ドチラガ善
イノカ惡イノカ分リマセヌケレドモ、是ハ
參考マデニ申上ゲタイノデアリマス、斯ウ
云フコトガ結果トシテ起ツタ場合ニ於テ
ハ、配給係ガ實ノ惡イ人デアツタ場合ニハ、
詰リ役得ト云フモノガ起ツテ來ルノデアリ
マシテ、茲ニ不正ガ行ハレルノデアリマ
ス、是ハ米バカリデナク砂糖デモ魚デモ皆
サウデアリマシテ、魚ナドニ至リマシテハ
一日ニ四錢ヤ五錢ノ配給ヲ貰フノニ、五時
間モ六時間モ待タナケレバ買ヘナイト云フ
場合ニ於テハ皆權利ヲ放棄スル、其ノ放棄
シタ時ニ於テ殘ツタ魚ハ何處ニ行カト云
フト、思ヒ半バニ過グルモノガアルノデア
リマスガ、是等ハ一ツ參考トシテ聽イテ載
キタイノデアリマス

次ニ食糧營團ニ依ツテ色々責任ヲ持タシ
テヤルコトニナツタラシイノデアリマスガ、
薩摩芋ノ問題デアリマスガ、或ル縣デハ腐ラ
シテ居ルガ、或ル縣デハソレヲ欲シサニ喉カ
ラ手ヲ出シテ居ルト云フ事實ガアルノデア
リマス、是ハ値段ノ建テ方ガ時ニ依ツテ違
ヒマスカラシテ、農村デ薩摩芋ヲ作ルモノ
ハ安イ時ニ少ク出シテ、高クナツタ時ニ後
カラ出サウト云フヤウナ考ヘデ持ツテ居ル
ガ爲メ、詰リ申請スル量ガ間違ヒヲ起シテ、
ソレデ最後ニ賣ルコトモ出來ズ腐ラシテシ
マフト云フコトガアルノデアリマス、此ノ
値段ノ建テ方——先ニ賣ルノト後カラ賣ル
ノト値段ノ建テ方ガ違フノデアリマスガ
ラ、是等ニ依ツテサウ云フ結果ヲ來スト思
フノデアリマス、之ニ對スル御意見ヲ承リ
タイ、又無水「アルコール」用ノ芋ノ製造デ
アリマスガ、是ハ農村ノ——或ル時ハ芋ヲ製
造シテ居ナイ所ヘ無水「アルコール」用ノ芋
ノ製造ヲ強制シテ居ルガ爲メ、高イ芋ヲ買
ウテ損ヲシテ供出シテ居ル實例ガアルノデ
アリマス、之ニ對シテ御意見ヲ承リタイト
思フノデアリマス

ソレカラ戰時食糧政策ニ關聯シテデアリ
マスカラモウ五、六分時間ヲ戴キマシテ、水
産ノコトヲ少シ質問サセテ戴キタイノデア
リマス、食糧問題ノ解決ノ爲ニ捕鯨業ニ對
スル獎勵方法ヲ承リタイノデアリマス、ソ
レカラ最近ハ遠洋漁業船、詰リ鯨鯨ノ漁業
デアリマスガ、油ガナイ爲メ、ソレカラ船
ガ徵用セラレテシマフガ爲メ、ソレカラ燈
火管制其ノ他海ノ警戒ノ關係ナドニ依リマ
シテ、漁業ハ一度ニドツト減少シテシマツ
タノデアリマス、南洋ヘ行キマスト、鯨ヤ
鮪ノ非常ニ大キナ漁場ガアルノデアリマス
ガ、此ノ際遠洋漁船ヲ南洋ヘ廻ハサシメ
テ、サウシテ南洋ノ油其ノ儘ヲ自給自足セ
シメテ、ソコデ鯨節ヲ製造セシメタリ、
鯨、鮪ヲ漁獲セシメタリスル方途ヲ如何様
ニ御考ヘ下サツテ居ルカ、之ヲ承ツテ置キ
タイト思フノデアリマス

次ニ漁船ノ徵用ノコトデアリマスガ、徵
用セラレマシタガ爲メ、鯨船ノ乗組員ノ百
名乃至二百名ガ、其ノ間商賣ナクシテ遊ン
デ居ルノデアリマス、徵用船ハ何時歸ツテ來
ルカト云フコトガ分ツテ居リサヘスレバ、此ノ
待機シテ居ル間ノ方針モ決マルノデアリマス
ガ、何時返シテ貰ヘルカ分ラズ、又何時返シ
テ吳レト云フコトモ出來マセヌシ、此ノ間漁師
ガ非常ニ困ツテ居ルノデアリマス、國家ノ爲
メデアルカラシテ、困ル困ラスト云フコト
ハ問題デアリマセヌケレドモ、此ノ間ノ生
活上事實困ツテ居ルコトニ對シテ、水産局
トシテドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレカ、
是等ニ對スル御意見ヲ承リタイノデアリマ
ス、次ニ此ノ際南洋方面ヘ出漁セントスル
希望者ガアツタ場合ニ於テハ、是等ノ取扱
ニ對シテ、何カ御意見ヲ持ツテ居ラレカ
デナカラウカ、之ヲ承リタイノデアリマス

ソレカラ又米ノ問題ニ歸ヘリマスガ、占
領地デ米ヲ徵發スル場合ガアルノデアリマ
スカ、又絕對徵發出來ナイノデアリマスカ、
如何程内地カラ米ガ占領地ヘ送ラレテ居ル
カト云フコトハ、發表出來ルカ出來ナイカ
知リマセヌガ、其ノ邊ノ所ヲ少シ承ツテ置
キタイノデアリマス

ソレカラハ最後ノ質問デアリマスガ、大
藏大臣ニ聽ク方ガ適當カト思ヒマスガ、此
ノ際農相ノ御意見ヲモ御參考マデニ承ツテ
置キタイト思フノデアリマス、今ノヤウニ
配給機構ガ兎ニモ角ニモ確立シタ以上ハ、
或ル程度納稅其ノ他ノコト、詰リ品物ヲ以
テ、特ニ米ヲ以テ金ニ代ヘテ納稅ヲセシメ
タリスルヤウナ方途ヲ御考ヘニナツテ居ラ
ナイデアリマセウカ、御伺ヒシタイノデア
リマス、サウスレバ物ニ依ツテ詰リ金ノ代用
ヲサセル時ニ於テハ、惡性「インフレ」ノ防
止ノ爲ニモナリマシテ大變好イノデハナイ
カ、斯様ナ考ヘ方ヲ持ツテ居ルノデアリマ

ス、以上極メテ簡單デアリマスガ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○井野國務大臣 只今各點ニ互ツテノ御質問ニ對シテ大體大キイ問題ハ私カラ御答へ申上ゲマス、政府ハ食糧政策ニ對シテ積極的ナ氣持ヲ進マナケレバ、イカヌデヤナイカ、我が國ハ瑞穂ノ國デアリカラ、人口ノ増加ニ伴ツテ當然食糧モ殖エテ行ク神代カラノ宿命ガアルノデアルト云フ御意見デアリマスガ、現在内外地ヲ通ジマシテ、大體我が國ノ現在ノ人口ノ狀態ニ即應シテ、食糧ノ自給自足ハ出來ルノデアリマス、唯米、麥等ノ農作物ハ豐凶ニ依ツテ非常ニ支配サレマスカラ、天候ノ惡イ時ニ多少減ル、其ノ爲ニ他カラ、食糧ヲ補給スルト云フコトハ是ハアリ得ルノデアリマスガ、大體ハ自給自足ガ出來ル建前ニナツテ居リマス、政府モ從來非常ニ米ノ過剩ノ時ニ、色々ノ消極的ト申シマスガ政策ヲ執ツタノデアリマスガ、現在ノ實體カラ見マス、東亞共榮圈ノ此ノ狀態カラ見テ、今後食糧ガ非常ニ剩ルト云フ事態ハナイモノト大體見透シテ付ケテ居ルノデアリマス、隨テ今回食糧管理法案ヲ作リマシタノモ、農村デ出來ルダケ米ヲ作ツテ呉レ、作ツタ米麥ハ皆政府ガ買フ、斯ウ云フ體制ヲハツキリ積極的ニ示シマシタノモ、其ノ見透シヲ持ツテ居ルカラデアリマス、唯先程御話ノ桑ノ整理ニ付テノ問題デアリマスガ、是ハ食糧問題ニ對スル考ヘ方トハ全然別デアリマシテ、桑ハ御承知ノ通り繭、生絲ノ生産飼料デアリマスガ、是ガ「アメリカ」ニ生絲ガ賣レナクナツタコトカラ、色々ノ對策ヲ講ジテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ又食糧關係カラモ考慮ヲ加ヘテ其ノ對策ヲ講ジテ居ルノデアリマ

スカラ、食糧ノミカラ之ヲ致シテ居ルト云フ所謂消極的ナ考ヘ方デハナイノデアリマス、玄米食ノ問題並ニ七分搗ノ問題ニ付キマシテハ法令ニハ米穀搗精等制限令ト云フ規則ガ出テ居リマシテ、今日業者ノヤリマスモノハ七分搗ニ致シテ居リマス、併シ農家等ニ於キマシテ、農家ガ白米ニシテ七分搗ニシナイノハナゼカ、其ノ理窟ヲ研究シテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハヤハリ今日飼料ガ不足シテ居リマスノデ、糠ガ必要デアリマスカラ、農家トシテハサウ云ツタヤウナ傾向ガアルノデハナカラウカ、決シテ都會人ニ皮肉ニモ白米ヲ食ベサセルト云フ意味デヤツテ居ルノデハナイト私共ハ見テ居ルノデアリマス、又保有米ノ中ノ剩ツタモノヲドウスルカト云フコトハ、是ハ今日政府ニサヘ賣ツテ戴ケレバ幾ラデモ政府ハ買フノデアリマス、剩ツタモノノ處分ニ御困リニナルコトハ是ハナイト考ヘテ居リマス、之ヲ各個人ノ自由ニ移出ヲサセマス、又ソコニ統制上ノ亂レヲ生ジマスカラ、政府ヲ通ジテ配給ノ公正ヲ期シテ行キタイト考ヘルノデアリマス、甘諸ノ價格、或ハ無水「アルコール」ノ割當等ノ問題ニ付テハ後程政府委員カラ御説明申上ゲマス

水産ノ問題ニ付キマシテハ、捕鯨業ニ付キマシテハ今日捕鯨業ハ南氷洋、北氷洋ノ捕鯨ト、近海ノ捕鯨トアルノデアリマスガ、南氷洋、北氷洋ノ捕鯨ハ國際情勢カラ致シマシテ、今日出漁ガ出來マセス、出漁ノ出來ル時期ガ來マスレバ、是ハ固ヨリ業者ヲシテ、積極的ニ獎勵シテ参リタイト考ヘテ居リマス、遠洋漁船ニ付キマシテモ、南洋方面ニ對スル出漁ニ付テハ、油ノ關係其ノ

他資材ノ關係ガ十分ニ参リマスレバ、是非ヤリタイト考ヘテ居リマスガ、今日色アルノデアリマス、又漁船ノ徵用期間中ノ漁師ノ取扱ニ付キマシテハ、今日徵用シマス時ニハ、陸海軍共ニ徵用料ヲ拂ツテ居リマス、隨テ漁船主ハ其ノ徵用料ヲ以テ是等ノ漁師ヲ養ツテ行ク建前ニナツテ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ間ニ於テ色々御困リノ事情ガアリマスレバ、具體的ニ御示シヲ願ヘバ又善處致シタイト考ヘテ居リマス、南洋方面ノ出漁ニ付キマシテモ、目下マダ作戦途上ニアリマスカラ、ドン／＼漁船ガ出テ行ツテ鮪、鰹ヲ獲ルト云フ所マデハ今日マダ許シ得ナイ實情ニアリマス、是モ作戦ノ遂行ニ從ヒマシテ、適當ニ考ヘテ参リタイト考ヘテ居リマス

占領地ニ於ケル米ノ問題ニ付キマシテハ、無論敵產デアリマスレバ徵發等モ出來マスケレドモ、サウデナイモノハ皆購入ヲシマシテ、サウシテ東亞共榮圈ノ食糧ニ充テテ参リタイ、又納稅ノ場合ニ米デ物納出來ナイカト云フ御話デアリマシタガ、今日ノヤウニ配給統制ヲ致シ、國家管理ヲ致シテ居リマス、税金ニ之ヲ廻ハスト云フ行キ方ニナリマス、又其ノ統制ガ亂レテ参リマスカラ、農林省方面カラ致シマシテモ、現在デハサウ云ツタコトハ希望致シテ居リマセヌノデ、大藏大臣トシテモ亦考ヘテ居ナイト存ジマス、尙ホ詳細ノコトハ政府委員カラ答辯致シマス

○岸政府委員 甘諸ノ價格ノ御話ガアツタヤウデアリマスガ、大體決メ方ノヤリ方ヲ御話シテ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、此ノ點ハ前ノ議會デモ質問ガアツテ、詳細申上

ゲテ置キマシタガ、大體最近價格ヲ決メマスルニ付キマシテハ、小賣ノ方面ハ從來ノ實績ヲ見テ、ソレヲ上ゲルト云フコトヲセズ、以テ低物價政策ニ即應シタ食糧政策ニ順應スルヤウニシテ参ツタノデアリマス、ソレカラ新タニ生産者販賣價格ヲ決メマシテ、其ノ生産者販賣價格ハ、大體地方的ノ生産費ヲ見、又地方的ノ需給關係ヲ見テ之ヲ定メルヤウニシタノデアリマス、尙ホ配給ノ關係ヲ合理的ニスル、又從來アツタヤウニ用途別ニ價格ニ非常ニ差ガアツテ、用途ガ違ツタモノヲ生産供出スルト非常ニ不利ヲ被ツテ居ツタト云フヤウナ狀態ヲナクナスヤウニシテ、總體ニ甘諸ノ生産ガ有利ニナルヤウニ決メテ居ルノデアリマス、ソレヲヤル爲ニ、品等ニ依ル所ノ生産者販賣價格ヲ決メマシテ、ソレデ購入ヲシテ、統制會社ノ手デ用途別ニ配給ヲスル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ執ツテ、ソレ／＼生産者販賣價格ニ即應シタ統制會社ノ購入價格、統制會社ノ販賣價格、尙ホ其ノ統制會社カラ卸商ニ賣リマス所ノ卸商ノ販賣價格、ソレカラ小賣價格、斯ウ云フ風ヲ決メ方ヲシテ居リマス、御話ノ中ニアリマシタ「アルコール」用ノモノガ非常ニ安イト云フコトハ從來ハアツタラウト思ヒマスガ、此ノ方式ガ執ラレタ後ニ於テハ、大體其ノ點ハ解消サレタト思ツテ居リマス、大體主テ生産地ニ於キマシテハ生産費ノ關係ヲ十分考慮シテアリマスノデ、寧ロ有利ニナツテ居ルノデハナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ統制機關ヲ通ジテ物ガ流れマスレバ、「アルコール」原料ヲ供出シテ居タ人ガ非常ニ利益ヲ被ルト云フ事實ハ解消サレルダラウト斯ウ考ヘテ居リマス

○濱地委員 今農相ノ御答ヘノ中説明シテ置キタイノデスガ、遠洋漁船ノ徵用ニ關シテデアリマス、徵用料ニ依ツテ乗組員ノ生活ヲ保障スルト云フコトハ出來ナイノデアリマシテ、徵用料ヲ受ケタラハ船主ノモリマシテ、乗組員ハ乗組シテ時ニ於テノミ其ノ漁業ニ或ル關係ヲ持つノデアリマシテ、乗組マナカツタナラバ、船其ノモノニ對シテハ何等ノ權利モ何モナイノデアリマス、ガカラ徵用料ハ船主ガ貰フノデアリマシテ、乗組員ニハ殆ド渡ツテ居ナイヤウニ思フノデアリマスガ、マアソレダケ申上ゲテ置キマス

○井野國務大臣 其ノ點ハ私モ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、乗組員モ徵用ノ時ニ一緒ニ連レテ行ク場合モアリマス、唯殘ツタ漁師ダケノ場合ニハ、能ク親許漁師ト子飼トノ關係救済シテ居ル向ガアルノデアリマス、デスカラ御話ニ依ツテハサウ云フモノモ出來ルノデナカラウカト思ヒマスカラ、具體的ナ問題ニ付テ御相談ヲ願ヒタイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス

○三善委員長 森田重次郎君

○森田(重)委員 私出來ルダケ簡單ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、出來ルダケ詳シク御答辯ヲ御願ヒ致シマス、先ヅ食糧管理局長官ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、來年度ニ於ケル食糧ノ綜合的計畫ノ實際上ノ數字ヲ御伺ヒ致シタイ、内地、外地、滿洲、南洋、是等ヲ絡ンデ、ドウ云フヤウナ計畫數字ニ於テ、ドウ云フ豫想ノ下ニ來年度ノ食糧ヲ確保セントシテ居ルカ、之ヲ御發表出來ル程度デ宜シイカラ、御發表ヲ御願ヒ致シタイ

○湯河政府委員 食糧ノ綜合計畫ノ問題デ

ゴザイマスガ、實ハハ内地ノ需給推算ニ付キマシテ御説明ヲシマセスト、本當ニ御諒解ガ願ヘスカトモ存ジマス、併シ物動等ノ關係モゴザイマシテ、數字ノ發表ノ自由ヲ持つテ居リマセヌノデ、極ク概略ノ所ヲ一ツ御説明申上ゲタイ、實ハ來年度ト仰セデゴザイマシタガ、恐ラク今年度デ宜イト思ヒマス、本米穀年度ト致シマス昨年ノ十一月カラ以降デアリマス、新聞デ御覽戴キマシタヤウニ、前年度ヨリノ持越ガ相當多ウゴザイマス、此ノ數字ハ新聞ニモ出テ居リマス、八百三十九万石カニナツテ居リマス、此ノ數字ハ相當宜シイノデアリマスガ、何分ニモ昭和十六年、昨年ノ秋穫レマシタ米ノ實收ガマダ分ツテ居リマセヌ、第二回目ニ發表致シマシタ收穫豫想ガ五千五百四十六万石トナツテ居リマス、是ガ非常ニ少イ、ソレカラ朝鮮、臺灣等ノ外地ヨリ吾々ガ移入致シマスモノガドレ位ニナルカト云フ點デゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ朝鮮ノ事情ハ滿洲ヨリノ糧穀輸入ノ事情ニモ制セラレマスシ、又臺灣ノ移入ニ付キマシテハ臺灣ノ第一期作、第二期作、是等ノ事情ニ制セラレマスノデ、マダ確定的ノコトヲ吾々トシテ豫測ガ出來ナイノデゴザイマスガ、是等外地ヨリノ移入ニ付キマシテハ、昨年度ヨリ相當多キヲ期待シ得ルト思ツテ居リマス、サリナガラ、御推察戴ケルコトト存ジマスガ、相當規正致シマシテモ内地ノ消費ハ相當多イノデゴザイマスカラ、吾々ト致シマシテ茲ニ相當ノ不足ヲ豫想セザルヲ得ナイ、此ノ不足ニ付キマシテハ、只今ノヤウナ戰爭遂行下ニ於キマシテ外米ヲ輸入スルト云フコトハ、無論此ノ勝利ヲ得マシタ時ニ於テ出來ナイコ

トハナイノデゴザイマスガ、一方輸送ノ關係カラモ非常ニ苦シクナツテ居リマス、ドウシテモ吾々ト致シマシテハ外米ハ斯ウ云フ時代ニ於テ出來ルダケ獲得致シマシテ、而シテ之ヲ將來ノ豫備貯藏ニ充テタイト云フ考ヘヲ持つテ居リマスカラ、茲ニ見込マレマス相當大キナ不足ニ付キマシテハ、外米ヲ以テ埋メルト云フ計畫ヲ致シマセズニ、國內ニ生産致サレマス所ノ麥或ハ諸等ノ増産分ヲ以テマシテ、之ヲ米ト綜合配給ヲ致シテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、又一方カラ考ヘマシテ米ノ消費ソレ自體ニ付キマシテモ、或ハ酒米ノ制限デゴザイマストカ、乃至ハ消費規正ソレ自體ノ厲行ニ努メマシテ、茲ニ其ノ需給ノ均衡ヲ得ルヤウニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマス、ソレデソレ等ノ點ニ付キマシテ數字的ニ申上ゲルコトノ出來マセヌノハ残念デアリマスガ、外米ニ付キマシテハ出來ルダケノモノヲ入レテ參リタイト云フコトヲ考ヘテ居リマスシ、増産致サレマシタ諸、麥等——是ハ吾々ノ計畫ヲ以テ致シマスレバ、幸ヒ増産ガ計畫通りニ參リ、又消費規正ガ計畫通りニ參リマスレバ、吾々ノ見込デハ、計算上出テ參リマス米ノ不足ハ十分ソレヲ以テ補ヒ得ルコト云フ考ヘヲ持つテ居リマス、吾々ノ今ノ計畫ハ、八月以降米ガタツプリアル生産地帶カラ一應米ヲ貸出シテ貰ツテ不足地帶ニ米ヲ出シテ、サウシテ其ノ生産地帶ニ於テモ麥ナリ、諸ナリ混ゼルト云フコトヲ計畫致シテ居リマス、ソレ等ノコトヲ實施シテ參リマス爲ニモ是非此ノ法案ヲ實現シタイト思ツテ居リマス、數字ニ付テ申上ゲラレマセヌノデ御諒解得難イト思ヒマスガ、御諒承願ヒマス

○森田(重)委員 ソコデ大臣ニ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、現在ノ米價並ニ麥ノ價格ガ、他ノ物價ニ比シテ果シテ適當デアルカ、米麥ガ日本人ノ食糧ノ極メテ重要ナル點ニ鑑ミテ、私等ハ價格政策ニ依ツテハ一切ノ物價ノ中心ニナルベキ筈ノモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ見地カラ考ヘマス、必ズシモ私共ハ之ヲ適當ト見テ居ナイノデアリマス、大臣ハ此ノ現在ノ價格ヲ正當ナリト御考ヘニナツテオイデニナルノデアアルカ、又之ヲ適當ナル機會ニ於テ是正セントスル御考ヘガナイノデアアルカ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒマス

○井野國務大臣 米及麥ノ價格ガ現在ノ物價ニ比ベテドウデアアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、今日農林省トシテハ、米價政策或ハ麥價政策ニ付キマシテ、唯物價ダケカラ考ヘルト云フコトハ致シテ居ラナイノデアリマス、生産費デアルトカ、其ノ他色々ナ事情ヲ考ヘ合ハセマシテ、買入ニ當リ又賣渡ニ當ツテ價格ヲ決メテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ物價カラ比ベテドウカト云フコトニナリマス、米ノ今日ノ價格自體ニ於キマシテモ、獎勵金ヲ加ヘマスレバ、決シテ他ノ物價ニ對シテ均衡ヲ得テ居ナイトハ考ヘナイノデアリマス、唯生産費ノ問題等カラモ考ヘナケレバナリマセヌカラ、ソレ等ノ事情ヲ色々考慮致シマシタ結果、現在ノ政府ノ米ノ買入價格ダハ低イ、農村ニ對シテハソレデハ十分デナイト云フ所カラ、先般一石五圓ノ獎勵金ヲ出スコトニ致シマシタシ、又銘柄、格差ノ整理ニ依リマシテ、大體一圓方農村ニ金ガ落チマシヤウニ色々工夫ヲ致シタノデアリマス、隨テ現在ノ是等ノ政策ヲ加味シマシタ此ノ價格

ハ、凡ユル觀點カラ見テ私ハ現在ニ於テハ適當デアルト考ヘテ居リマス、併シ麥ニ付テハドウカト云フコトニナリマス、麥モ小麥、大麥、稗麥、色々違ヒマスガ、大麥、稗麥ニ付キマシテハ、現在ノ價格ハ色々事情ヲ考ヘマシテモ比較的少シ安イデハナシカト考ヘテ居リマス、隨テ是ハ何トカ直シタイト色々考ヘテ居リマスケレドモ、低價格政策ノ建前モアリマシテ、消費者販賣價格ヲサウ動かス譯ニ參リマセヌノデ、政府ガ買フ場合ニ於ケル操作ノ致シ方デアリマシテ、或ル程度修正ヲ致シタイト云フ積リデ今研究ヲ致シテ居リマス、ソレガ修正後果シテ適切デアアルカドウカハマダハツキリト申上ゲラレマセヌガ、兎モ角何トカ致シタイト云フ氣持デ今色々研究ヲ致シテ居リマシテ、近い機會ニサウスル積リデアリマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○森田(重)委員 次ニ御伺ヒ致シタイトノハ肥料ノ問題デアリマスガ、來年度ノ肥料ノ配給數量ノ上カラ若シ御發表出來マスナラバ御伺ヒ致シタイト、ゾレカラ昨年度ノソレト對比シテ、果シテ今年ハドレダケノ數量ヲ供給ガ出來ルノデアルカ、之ヲ御伺ヒ致シマス

○井野國務大臣 肥料ノ配給數量ハ、是モ數字ハ物動ニ關シテ居リマスノデハツキリ申上ゲラレマセヌガ、昨年ニ比ベテドノ程度出セルカト云フコトハ申上ゲマス、是ハ大體硫酸ニ付キマシテハ約八〇%、過燐酸肥料ニ付キマシテハ五〇%、加里ニ付キマシテハ問題ナク殆ド參ラナイ、斯ウ云フ事態デアリマス

○森田(重)委員 是ハ非常ニ大キイ問題ナノデアリマシテ、農民ハ増産シロト云ハレル、ソレハ宜シイ、農林省ハ一體肥料ヲドウシテ呉レルノカト云フコトガ非常ニ大キイ問題ニナツテ居リマス、非常ニ御苦心ナサツテオイデニナルコトダト私等モ無論思ヒマスガ、併シ何カ茲デ新機軸ヲ開イテ、サウシテ増産方法ヲ講ズルノデナイト、是ハ農村トシテドウシテモ増産ニ協力ガ出來ナイヤウナコトニナルト思フノデアリマス、ソコデ私等ハ此ノ前ニ硫酸ノ増産ノ問題デ、例ヘバ産業ノ合理化ノ問題ニ於テ廢「ガス」ヲ利用シテ硫酸ヲ造ルコトヲ是非ヤツテ貫ヒタイト云ヒ、當時商工大臣モ大藏大臣モ之ヲヤラウト言ツタヤウナコトデアツタノデアリマシタシ、農林省ニ於テモ亦ソレヲヤツテ宜イ、斯ウ云フ御考ヘノヤウデアツタノデアリマスガ、併シ其ノ後果シテドウナツテ居ルカ云フコトガ明カニナツテ居ラスヤウデアリマス、是ハドウ云フヤウナコトニナツテ居リマスカ、其ノ點ニ御伺ヒ致シタイト、更ニ何カ今ノ生産業者ノ經營ヲ合理化スルコトニ依ツテ、少クモ三割方ノ増産ハ出來ル筈ダト云フコトガ、ハツキリト専門家ノ間ニ言ハレテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ何カ打ツベキ手ガアル筈ダト私等ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シテ農林省ハドウ云フヤウナ御考ヘヲ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○井野國務大臣 肥料ノ供給ガ減ツテ來タ爲ニ、農村ニ對シテ増産ヲ要望シマス上ニ於テ吾々モ非常ニ心苦シクハ考ヘテ居リマス、隨テ凡ユル努力ヲ以テ硫酸、過燐酸石灰、石灰窒素等ノ製造量ヲ殖ヤスコトニハ

努力シテ居リマスガ、是ハ減リマシタ原因ガ今御話しノヤウナコトカラ來テ居リマシヨリモツト痛切ナ問題ニ直面シテ居ルノデアリマス、例ヘバ硫酸ノ如キハ石炭ガ十分ニ來ナイト云フ爲ニ其ノ生産ガ減ツテ來テ居ルノデアリマス、又過燐酸石灰ノ如キハ燐礦石ガ今回ノ事變ノ爲ニ海外カラ入ツテ來ナイト云フコトカラ減ツテ來テ居ルノデアリマスカラ、是等ヲ國內ニ於テ確保シマスル爲ニ、石炭ノ如キモ商工省、企畫院ヲ通ジテ極力他ノモノノ需要ヲ減ラシマシテモ肥料製造ニ廻ハスヤウニ努力シテ居リマス、其ノ爲ニ初メ計畫シテ居リマシタ程減ラサナイデ、相當ニ石炭ハ肥料ノ方ニ廻ハスヤウニ最後ノ決定ヲ見タヤウナ譯デアリマシテ、只今申上ゲマシタ昨年ノ八〇%ニ止メ得マシタノモ、相當ノ船繰リノ無理ナ時ニ於テ石炭ヲ硫酸製造ニ持ツテ來得タノデアリマス、又燐礦石ニ付キマシテモ國內デ生産スル燐灰石其ノ他ノモノヲ以テマシテ、出來ルダケ増産ニ盡シテ居リマス、併シ今日ノ減産ノ主ナ理由ガ右申シマシタヤウナ原料難ノ爲ニ生ジテ來ルノデアリマシテ、企業ノ形態カラ生ジテ來マス問題デアリマレバ、ソレハ其ノ點ヲ改善シマスレバ自ラ増産ニナリマスケレドモ、サウデハナクシテ寧ロ今申シタヤウナ點ニ重點ガアルノデアリマス、然ラバ只今御尋ネノ製鐵其ノ他ノ廢「ガス」カラ硫酸ヲ造ル問題ハドウナツテ居ルカト云フコトデアリマスガ、是モ色々其ノ方面トモ相談シテ研究ハシタノデアリマス、併シ現在ノ設備デハ出來ナイノデ、新シイ設備ガ茲ニ要ル、サウナツテ來ルト鐵材ガドウシテモ茲ニ廻ハセナイ、斯ウ云フヤウナ色々事情ガアルノデアリマス、又

企業ノ整理統合ノ問題モ色々計畫致シテ居リマスケレドモ、是自體ハ今御述べクヤウナ直グ三割モ四割モ數量ガ殖エルト云フ性質ノモノデハナイノデアリマス、隨テ現在ニ於テハ原料ヲ出來ルダケ農林省トシテハ確保シテ肥料ノ製造ニ努メルト云フヨリ外途ハナイノデアリマス、然ラバ將來ドウナルカト言ヘバ、御承知ノ通り南洋方面ニ於キマシテハ、今回ノ赫々タル戰果ニ依ツテ燐礦石ハ相當ニ又新タニ入り得ル見透シモ付イテ參リマシタ、デアリマスカラ將來ノ肥料問題ニ付キマシテハ、過燐酸石灰ノ如キハ相當殖ヤシ得ルノデアリマスケレドモ、目前ニ於テハ中々ソレハ困難デアアル、又石炭不足ノ如キモ、船繰リノ都合ガ段々付イテ來テ、石油等ガ南洋方面カラ入ツテ參リマスケレバ、是モ硫酸ニ付テモ將來ヲ考ヘマスケレバ段々明ルクナツテ參ルノデアリマス、隨テ農村ニ向ツテハ、吾々ハ現在ハ此ノ足リナイ肥料デ以テ一時自給肥料其ノ他ノ方法ヲ講ジテ、兎モ角増産ヲシテ呉レ、有ルモノヲ與ヘテ増産ヲ頼ムコトガ出來レバ農林省トシテハ非常ニ氣ガ樂デアアルガ、無イモノヲ以テ無理ニ一ツ増産ヲシテ呉ルト云フコトヲ精神的ニ色々方面カラ御願ヒシ、サウシテ自給肥料ヲ以テ之ヲ補ツテ行ク、將來ハ段々明ルクナツテ來ルト云フコトヲ申シマシテ今日ハ農村ニ臨ンデ居ル次第デアリマス、肥料政策ニ付キマシテハ農林省トシテモ、色々各方面ニ互ツテ總動員ニ努力ヲ致シテ居リマスル點ニ付キマシテハ十分御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○森田(重)委員 能ク分リマシタ、併シ結局肥料ノ量ト云フモノハ、非常ニ少イ、サウスルト結局與ヘラレタル肥料、ドウ

云フ風ニ用ヒルベキカト云フコトガ農村ニ懸ケラレタ非常ニ大キイ問題ダト思フ、ソコデサウ云フヤウナ肥料ノ合理的ナ使用方法ト云フモノニ付テ、一體農林省デハドウ云フヤウナ方針ヲ樹テ居ルカ、是ハ私ハ肥料ノ専門家デモアリマセヌカラ能ク分ラナイノデアリマスルガ、唯民間ノ大井上利農研究所長ノ研究ヲ發表サレタモノヲ見マス、榮養週期法ト云フヤウナ方法ニ依ツテヤリマスト非常ニ良イ成績ガ具體的ニ擧ゲラレテ居ルト云ツタヤウナコトガ發表セラレテ居ルノデアリマス、所ガ斯ウ云フヤウナ民間側ニ起ツテ、而モ實驗的ニ能率ガ擧ツテ居ツテモ舊來ノ官ノ行キ方デアリマス、地方ノ試驗場邊リデハ案外斯ウ云フモノヲ排斥スル傾向ガアルノデアリマス、サウ云フコトデハ私ハイカスト思ヒマス、是ハ一ツノ例デアリマスルガ、斯ウ云フヤウナモノ、或ハ肥料分施ノ方法等ニ付キマシテモ、果シテドノ程度マデ徹底スルヤウナ方法ヲ講ジテ居ラレルノデアルカ、其ノ點ニ對シテ一ツ御意見ヲ御伺ヒ致シマス、序デニ假リニ農林省ガサウ云フ方針ヲ御立テニナツテオイデニナツテモ、現在ノ農會ノ指導員ノ手ノ不足ヲ以テハ、之ヲ徹底セシムルコトハ容易ナコトデナイト思フ、之ニ對シテ農林省ハサウ云フ風ナ綜合的ナル指導ノ爲ニ農會ノ指導員ヲモツト多クスル計畫ヲ持ツテオイデニナルノデアアルカドウカ、此ノ點ヲ併セテ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

○岩政府委員 私家ラ御答ヘ致シマス、足リナイ肥料ヲドウ云フ風ニ使フカ、是ハ非常ニ難シイ問題デアリマス、私共モ非常ニ苦心ヲ致シテ居リマス、御承知ノヤウニ増

產計畫ガ立チマシテモ、後ニ於テ各地域地域ニ施肥ノ基準ヲ立テ、又耕種改良ノ基準ヲ立テ、各種ノ計畫ノ基準ヲ立テマシテ、サウシテ是ガ實行ニ依ツテ合理的ノ生産ヲシヨウトシテ居ル譯デアリマス、隨テ實情ニ即シテ現在ノ足りナイ肥料ヲドウ云フ風ニ使フカト云フコトハ、地域々々ニ其ノ施肥ノ基準ヲ立テマシテ、ソレニ從ツテ之ヲ實行シテ行カウ、其ノ中ニ於テハ、無論先程大臣カラ御話ノアリマシタ自給肥料ニ重點ヲ置イテ、土地ノ性質ヲ改善シ、之ニ依ツテ肥料ノ效キ目ヲ促進スル、サウ云フヤウナ意味カラ行キマス、有者農業ノ獎勵ノ如キハ其ノ一翼ヲナスモノデアルト思ヒマス、又今御話ノアリマシタヤウナ分施ノ方法ニ依リマシテ、從來非常ニ無駄ニ使ハレタ所ノ硫酸ヲ有效ニ使フ、斯ウ云フ方法ニ付テモ其ノ中ニ織込マレテ居ル譯デアリマス、是ハ地方的ニ慣行ガアリマスカラ、總テニ強要シテ之ヲヤルト云フ譯ニハ行キマセヌガ、地域のニハ逐次其ノ實行ヲ見ツツアルノデアリマス、是等ハ十分其ノ地方ノ特性ヲ見テソレヲ實行シテ居リマス、又今御話ノアリマシタ大井上氏ノ榮養週期法ト云フ點ニ付キマシテハ、私一寸拜見シマシタケレドモ、簡單ニ之ヲ了解スルコトガ出來マセヌノデ、今農事試驗場デ研究シテ貰ウテ居リマス、ドウ云フヤウナ效果ガ現ハレマスカ、ドウ云フヤウナ性質ニナリマスカ、ソレハ研究ヲ俟ツテ見ナケレバ分ラナイ、各地方ガ直チニソレヲ採リ入レルト云フコトハ、要スルニ今ノ農法ニ急ナル變革ヲ與ヘルト云フ危險ガアリマスカラ、慎重ニ取扱フコトニナルダラウト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、十分私等ハ新シイコ

トデモ良イコトハ取入レル、民間ノ考ヘテ居ルコトモ良イコトハ取入レル、研究ヲシテ實行スルト云フ考ヘ方デ進ンデ居リマスルノデ、此ノ點ハ御安心戴イテ宜カラウト思ヒマス

尙ホ農業方面ノ仕事ガ今度ノヤウナ事態ニナツテ參リマスルト、餘程細カイ所マデ注意シテ行カケレバナラナイト云フコトニナリマスルト、指導ト云フモノヲ餘程周密ニ親切ニヤツテ行カケレバナラヌト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、私共モ農會方面ノ指導網ヲ擴充シヨウト云フコトニ付テハ十分努力シタイト考ヘテ居リマス、本年ノ年度初メニ豫備金デ取りマシタ農會技術員ノ増配モ是ノ一端デアリマスルガ、事情ニ即應シテ善處シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○森田(重)委員 甚ダ飛ビ／＼ニナリマスガ、一通リ聽キタイト思ヒマシテ申上ゲルノデアリマスルガ、土地問題ニ付テ二點御伺ヒ致シタイト思ヒマス、第一點ハ適正小作料ト云フヤウナモノヲ實現スル爲ニ農林省ハ如何ナル御活動ト御指導ヲサツテオイデニナルノデアアルカ、第二ハ土地ノ交換分合ヲ非常ニ宜イモノノヤウニ宣傳サレ、又宣傳ヲシテ居ル方面モアルヤウデアリマスカ、成程是ハ抽象的ナ机上ノ上カラ考ヘルト、非常ニ意味ガアルヤウデアリマスカ、併シ具體的ニ果シテ實現ノ可能性ガアルカト云フコトニナリマス、今ノ土地法ノ上ニ於テ此ノ現象のナ分ダケヲ一ツ取上ゲテモ、一般的ニ實現ノ可能性ナシト考ヘル、若シ之ヲ實現セント欲スルナラバ、土地法ニ對シテ根本的ナ改革ヲ加ヘルノデナケレバイケナイ、然ルニ何カ是ガ非常ニ意味ノア

ルモノノヤウニ取上ゲラレマシテ、ソレガ地方ノ農村ヘ參リマシテ妙ナ一ツノ空氣ヲ蘊釀シテ居ルコトヲ見受ケルノデアリマス、之ニ關シ農林省ハドウノ程度マデ深く御考ヘニナツテ御獎勵ナサレテオイデニナルノデアアルカ、其ノ點併セテ御伺ヒ致シマス

○三浦(一)政府委員 只今森田ヤンノ御尋ネノ適正小作料設定ニ付テノ農林省ノ態度如何ト云フコトデアリマスガ、小作料ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ農政問題ニ付キマシテ、關心ヲ持タレル皆サンカラ隨所御意見ガアル譯デアリマシテ、之ニ對スル立法等モ要請サレテ居ルノデアリマスガ、小作ノ問題ハソレ程重大ナ問題デアリマシテ、吾々トシマシテモ、非常ニ研究ヲシテ居ルノデアリマス、事變下ニナリマシテカラ、取敢ズ小作ノ問題ニ付キマシテハ、餘リキモ凸凹ガ多クナツテハイカスト云フノデ、其ノ調整ヲスルト云フ點カラ總動員法ノ規定ニ依リマシテ、此ノ小作料ノ調整ヲヤツテ參ツタノデアリマス、ソコデ第二段ノ適正小作料ヲ求メル點ハ農業經營ノ上カラ非常ニ大事ナコトデアリマスガ、之ヲ一律ノ方針ノ下ニヤルト云フコトガ頗ル事情ニ即シナイト云フコトデアリマスルノデ、所謂法令等ヲ以テヤル、或ハ技術ノ指導方針ヲ以テヤルト云フコトニハ進ンデ居ラヌノデアリマス、但シ此ノ問題ハ地主、小作人間ニ於テ最モ大事ナ點デアリマスルノデ、指導方針トシマシテハ、町村ノ農地委員會デアルトカ、或ハ小作官ノ指導トカト云フ風ナコトニ依リマシテ、能ク地方ノ實情ニ即シタ小作料ノ適正ナル結果ガ得ラレルヤウニト云フ指導方針ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、其ノ點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

其ノ次ニ土地ノ交換分合ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ實ハ事變下ニナリマシテカラ非常ニ勞働力ガ足りス、ソコデドウシテモ能率ヲ高クシナケレバナラヌト云フ見地カラ農村方面デモ色々要望サレタノデアリマス、殊ニ經濟更生運動等ヲ徹底サセマシタ町村等ニアリマシテハ、話合ヒデ立派ニ出來ル、即チ耕地ノ所在地ト農家ノ所在地トガ餘リ離レテ居ツテハ能率ガ擧ラヌ、其ノ爲ニ相當隣保ノ間ニ話合ヒガ出來ルカラ、其ノ方面ニ特ニ指導シテ貫ヒタイト云フ風ナ要望ガアリマシテ、實ハ其ノ地方ノ要望ニ即シマシテ或ル程度ノ助成等モ致シタノデアリマス、前提トシマシテ相互ノ理解ガ必要デアリ、同時ニ又其ノ限度ノ土地交換分合ノ措置ガ執ラレテ居ルノデゴザイマシテ、一定ノ限界ガアルト思ヒマス、之ヲ一般的ニ押進メルト云フ意味合デハナカツタノデアリマス、併シナガラ之ヲ高イ意味ノ農業經營ノ改善ト云フ見地カラ見マス、合理的ナ結論ハ得タイト考ヘマス、隨ヒマシテ尙ホ慎重ニ考究シマシテ、即チ今後ノ日本ノ農家ノ統合ト云フモノハヤハリ耕地ノ擴大、同時ニ經營規模ヲ相當擴大シテ參ルト云フヤウニシテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、ソレニ應ジマシテ適切ナ結論ヲ得タイト今切ニ研究シテ居ル次第デアリマス

○森田(重)委員 ソコデ一ツ御伺ヒ致シタイノデスガ、今ノ小作料ノ問題ニ關シテ定額小作料ト所謂刈分小作料トノ問題ガ、何カ刈分小作料ヲ廢止シテ定額小作ニスルト小作料ノ問題ガ解決スルモノデモアルカリヤウニ考ヘテ應シテ居ル當局ガ地方ニアルモノノヤウデアリマス、所ガ此ノ定額小作料ト刈分小作料ノ問題ハ、決シテ單ナル理念等カラ發生シタモノデハナイノデアツテ、多年冷害等ニ見舞ハレテ居ル土地デ其ノ年度ノ稔リノ程度ガ一體ドノ程度デアルカト云フ基準ヲ定ムル所ニ必ズ爭ヒガ發生スル、其ノ多年ノ爭ヒノ發生ヲ防ガ結論トシテ、結局半分ヅツナリ或ハ四分六分ニ分ケタ方ガ宜イデヤナイカト云フ所ニ、一ツノ傳統的ノ意味ヲ持ツテ居ルモノダト思フ、是ハ三浦次官モ其ノ方面ノ御出身デアリマスカラ能ク分ルコトダト思ヒマス、所ガ之ヲ定額小作ニスレバ片付クノダト云フコトデ、何カ之ヲ盛シニ獎メテ居ルモノノヤウデアリマス、私ハ此ノ問題ハ決シテソナコトデ治マルモノデハナイノデアツテ、寧ろ額ニ依ツテ決定スルノデアルト思フ、即チ刈分小作ガ五分々々ニナルカ四分六分ニナルカ、何レガ適正カト云フ問題ニ依ツテ決定スルノデアツテ、其ノ種類即チ刈分小作ヲ廢止スルコトニ依ツテ決定スルノデアリナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ農林省デハドウ云フヤウナ御態度ヲ執ツテオイデニナルカ、御伺ヒ致シマス

○三浦(一)政府委員 小作料ノ適正化ヲ圖ル爲ニ定額小作ニスルカ、刈分小作ヲ廢メテシマツテ全部定額小作ニスルカト云フヤウナ理念上ノ指導方針ハ致シテ居リマセヌ、實ハ此ノ刈分小作ニ付キマシテハ御説ノ通り東北ノ一部、特ニ冷害地方ニ於キマシテハ從來ノ長イ慣行トシテ行ハレテ居ルノデアリマシテ、御説ノヤウナ理由ガアラウカトモ思ヒマス、隨テ唯劃一ニ考ヘル譯デハアリマセヌガ、併シ段々經濟事情モ變ツテ參リマスシ、ソレニ即應シテ若シモ刈分小作ガ小作人ヲシテ眞ニ安定サセルト云フコトデアリマスレバ、是ハ變ヘナケレバイカヌト思ヒマス、但シ又特殊ナ事情ガアリマシテ、其ノ間ニ適切ナル方法ヲ見出シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、決シテ一律ニハ指導シテ居リマセヌカラ其ノ點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○三善委員長 森田君モウ時間ガ來マシタカラ……

○森田(重)委員 ソレデハ此ノ程度デ宜シウゴザイマス、何レ又適當ナル機會ガアルダラウト思ヒマスカラ、後デ番ガ廻ツテ參リマシタ時ニ御許シテ願ヘマセヌデセウカ

○三善委員長 宜シウゴザイマス

○森田(重)委員 私人質問ハマダ三分ノ一程度デ、實ハモウ少シ綜合的ニ日本ノ農民ノ一番困ツテ居ル點ノ全部ノ條件ヲ檢討シタ上デ、其ノ御意見ヲ本當ニ御伺ヒシタカツタノデアリマスガ、併シ委員會ガ斯ウ云フヤウナ時間ノ制限ニナリマシタノデ、何トモシヤウガアリマセヌ、サウ云フ譯デゴザイマスカラドウゾ適當ナル機會ニ御許シテ願フコトニ致シマシテ一應私ノ質問ハ此ノ程度ニシテ置キマス

○三善委員長 山川頼三郎君

○山川委員 政府ガ茲ニ食糧管理法案ナルモノヲ提出サレマシタノハ、戰時食糧確保ノ爲ニ、各種ノ現行法ヲ整理統合シ、以テ増産配給ノ完璧ヲ期セントセラレルモノデ、時局柄洵ニ緊切ナル法律ト認メマシテ贊成スルモノデアリマスガ、私ノ質問致シタイコトハ、害獸鳥豫防ニ關スル立法ノ問題デアリマス、抑、農產物ノ増産ヲ圖ルノニハ、其ノ障礙トナルベキ病蟲害ノ豫防ト害獸鳥ノ防除ニ努ムルコトノ大切ナルコトハ、今更言フヲ俟タヌノデアリマス、病蟲害ノ豫防ニ

付テハ既ニ法律モ出來、指導御監督ノ途モ開カレテ居リマスルガ、一方害獸鳥ノ防除ニ對スル立法竝ニ施設ハ開却サレテ居リ、缺如シテ居リマスコトハ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、害獸鳥トハ野猪デアリマス、ソレカラ鹿、兎、鳥、雀、野鼠等デアリマシテ、其ノ被害額ハ年額五千萬圓以上ニ達シテ居ルカト思フノデアリマス、之ヲ防ガシガ爲ノ百姓ノ浪費ト云フモノハ大變ナモノデアリマシテ、此ノ損害ハ實ニ二三億圓ニ達シテ居ルカト思フノデアリマス、農林省ニ於キマシテ御調査ニナツタ數字ガアリマスナラバ御示シ願ヒタイノデゴザイマスガ、此ノ浪費等ニ付テハ中々本當ノ額ヲ見出スコトハ困難デアルト思ツテ居ルノデアリマス、被害作物ノ種類ハ米、豆、甘藷、筍、松茸、樹苗其ノ他一切ノ農作物デアリマス、此ノ害獸鳥ノ中デモ野猪ノ害ガ一番ヒドイノデアリマス、野猪ハ双蹄動物ニ屬シテ居リマシテ、豚ニ似テ居ルノデアリマシテ、豚ノ先祖ダト云フコトデアリマス、被害作物中ノ中デモ稻ノ害ガ最モ甚ダシイノデアリマシテ、秋ニナリ出穂時期ニハ稲ノ中ニ乳液ガ出來テ來ルノデアリマス、ソレガ段段凝結シテ來テ米トナルノデアリマスガ、其ノ乳液時代ニ野猪ハ田圃ニ密カニ現ハレテ來ルノデアリマス、サウシテ稻ヲ卷イテ僅カ一時間カ二時間程ノ間ニ一反歩内外程ノ膚ヲ全部荒ラシマクツテ收穫皆無ニ至ラシメマシタ上ニ、水田ヲ攪亂シテ泥ヲ自分ノ體ノ皮膚ノ毛ヤ何カニ全部擦リ込ムノデアリマス、ソレヲタラ打ツト云フノデアリマス、仰向ケニナツテ背中ニ押込ムノデアリマス、デアリマスカラ稻ガ被害ヲ受ケタ上ニ、其ノ稻ヲ全部土ノ中ニ押込シマフノデ

アリマス、何ガ爲ニサウ云フコトヲスルノ
デアルカト申シマスナラバ、ソレハ自分ノ
體ニ寄生シテ居ル虱、ソレカラ毛ノ中ニ居リ
マス壁蝨ト云フ痒イ虫ガアリマス、是ガ多
數野猪ノ皮膚ニヒツ付イテ居リマス、ソレ
ヲ驅除スル爲ニノタヲ打ツノデアリマス、
ソレガ終リマシタナラバ、今度ハ澤山ノ自
分ノ仔猪ヲ連レテ、脱兎ノ如クト言ヒマス
ケレドモ、アノ熟字ハ脱猪ノ如クト改メタ
ラ宜カラウト思フノデアリマスガ、大變ナ
音ヲサセテ山ノ中ニ一目散ニ逃ゲ込ムノデ
アリマス、其ノ逃ゲ込ムノハ毛ノ中ニ潜シ
テ居ル虫ガノ打チニ依ツテ驚イテ毛ノ外
ノ方ニ出テ居ルノヲ木ヤ草デ梳ツテ行キ居
ルノデアリマス、所謂風呂場ヘ行ツテ手拭
デ體ヲ拭クヤウナ意味デアリマシテ、サウ
云フヤウニシテ山ノ中ニ逃ゲ込ムデ參ルノ
デアリマス、即チ自分ノ體ニ附イテ居ル害
虫ヲ驅除シテ居ルノデアリマス、農民ガ一
年ノ間苦心シテ作ツ作物ガ收穫皆無ニサ
レルト云フコトハ、實ニ氣ノ毒ナモノデア
リマシテ、同情ニ堪ヘナイモノガアルノデ
アリマス

〔委員長退席、森田委員長代理着席〕

此ノ被害ヲ防グ方法ト致シマシテハ、其ノ
防除ノ方法ハ色々苦心シテ居リマスガ、何
分常ニ人間ト生存競争ヲヤツテ居リマス爲
ニ、智慧ガ非常ニ發達シテ居リマシテ、爲
ニ其ノ豫防ガ甚ダ困難ナノデアリマス、其
ノ防禦ノ方法ト致シマシテハ、木柵ヲ設ケ
タリ、鐵條網カ何カデ垣根ヲ作ツテ居ル所
モアリマス、鐵條網ヲ六、七條並ベテ作ツテ
居リマスガ、一部落五、六萬圓モ使ツテ居ル
部落モアリマス、又谷ノ流れヲ利用シマシ
テ、活動的案山子ヲ拵ヘマシテ、水ガ溜ツ

タラボカウト人間ガ上ツタリ下ツタリスル
ヤウナ案山子ヲ作ツテヤツタリ、ソレカラ
石油ノ空罐ヲ堰水ノ力デ以テカン／＼ト音
ヲサセルト云フヤウナコトヲシテ見タリ、
種々様々ナコトヲヤツテ居リマスガ、其ノ
效果ハ僅カニ一年、或ハ二、三回ヨリ效果ハ
ナイト云フコトデアリマシテ、今ノ所デハ
永續的ナ效果ヲ有スル豫防法ハナイノデア
リマス、又谷間ニ猪番小屋ヲ拵ヘマシテ張
番ヲシテ、間斷ナク大聲ヲ放ツテ夜モスガ
ラ呼ビ續ケルノデアリマス、サウシテソレ
ガ一箇月以上ニモ及ブノデアリマシテ、其
ノ聲ニ悲慘ナコトハ殆ド戰場デ叫ブヤウナ
聲ニ聞エルノデアリマス、晝ノ間ノ忙シイ
仕事ニ疲レタ體デ夜ハ一睡モセズニ叫ビ續
ケルノデアリマスカラ、聲ハ腹レ、眼ハ血
走ツテ洵ニ山田ヲ作ツテ居リマス者ノ苦心
ト云フモノハ實ニ氣ノ毒ナモノデ、猪追ヒ
ガ濟ミマシタラ病人ガ殖エルノデアリマス、
ノミナラズ若シ養子ガ猪ノ番ニ行ツテ被害
ヲ受ケタリシタ時ニハ、内ノ養子ハ猪ノ番
モ出來ヌト腹立チマギレニ親父ガ言ウテ、
ソレデ折角ノ上等ノ養子ヲ歸シタト云フヤ
ウナ悲話モアルノデアリマス、兵庫縣ノ津
名郡灘村ノ如キハ猪ノ被害ニ追立テラレマ
シテ、全村移住ノ已ムナキ運命ニ立至ツテ
居ルコトハ、既ニ御報告ヲ御覽下サツテ居
ルコトト存ジテ居ルノデアリマス、此ノ被
害ハ年々激増スルノデアリマス、昔ハ山林
ノ奥地ニ於ケル木材ト云フモノハ經濟距離
圈外ノモノデアリマスカラ、年々ソレニ火
入レテ致シマシテ、牧草地帶トシテアリマ
スノデ、奥山ト云フモノハ猪ノ住ヒ場ガ狹
カツタノデアリマス、所ガ維新以來ハ、林
業ノ獎勵ニ依リマシテ、是等ノ原野ト云フ

モノハ、皆立派ナ材木ガ茂生シテ、猪ノ棲
息區域ヲ大變擴大致シタノデアリマス、又
猪ノ產數兒ハ、是ハ年々一回ダケ產ムノデア
リマスガ、一時ニ十二匹位產ムト云フノ
デアリマス、繁殖ノ強大サハ實ニ驚クベキモ
ノガアルノデアリマス、此ノ儘ニ打捨テテ
置キマスルナラバ、遂ニハ大變ナコトニナツ
テ來ルデアラウト云フコトヲ心配スル者デ
アリマス、一組ノ猪親子七、八頭ガ住ヒ致シ
マスル山林ノ面積ヲ考ヘテ見マスルノニ
凡ソ一千町歩乃至一千五百町歩程ノ面積ニ
各、自然ノ間ニ食物ノ關係デ分布シテ居リ
マシタリ、又北上致シテ移動ヲ繰返シテ居
ルノデアリマス、雪ガ溜ツタラ食物ガナイ
カラ雪ノナイ方ニ出テ來ル、但シ寒イ所ヲ
好ム動物デアリマスルカラ、薄雪ノ場所ニ
來ルノデアリマス、雪ノ多イ時ハ南ノ方ヘ
追立テラレ、雪ノ少イ時ハ北ノ方ヘ寄ル、
斯ウ云フ風デ吾々背景山脈ヲ中心ニ住ンデ
居リマスル者ハ常ニ猪ノ棲息線ヲ前ニ見或
ハ後ニ見テ居ル、サウシテ此ノ慘憺タル猪
ノ被害ニ困ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、
猪ノ捕獲ハ容易ナラザル難事デアリマシテ、
是ハ猪ヲ獲ル所ノ専門ノ狩獵班ノ必要ガア
ルノデアリマス、狩獵班ハ獵師、勢子、獵
犬ノ多數ヲ要シマシテ、廣大ノ地區ヲ東ニ
走り西ニ走りシテ苦心慘憺シテ猪ヲ獲ルノ
デゴザイマス

〔森田委員長代理退席、委員長着席〕

斯ウシテ猪ヲ追ヒマクルノデアリマスカラ、
自分ノ家ニ住ンデ獵ニ出ルコトハ出來ナイ
ノデアリマス、猪ノ移動ニ從ツテ自分ノ住
居ヲ變ヘテ追ウテ行カンナラヌノデアリマ
スカラ、宿屋住ヒデアリマス、宿屋住ヒ

デアリマスルカラ、猪ヲ獲ルノニ費用ガ掛
ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ東奔西走シ
テ獲ツテ居ルノデアリマス、尙又猪ハ鼠ニ似
テ忍術ヲ知ツテ居ルノデアリマス、途方モ
ナイモノデアリマス、夏チンカハ人ガ踏ム
マデハ決シテ動カナイ、默ツテ潜シテ居ル
ノデ見付ケニクイ尙ホ其ノ上ニ御承知ノ通
リ猪ハ無聲動物デアリマス、他ノ動物ハニ
ヤントカ、ワントカ言ヒマスケレドモ、猪
ハ聲ガナイノデアリマス、唯犬ニ追ヒ掛ケ
ラレマシタラ極ク小サナ聲デ、グウ／＼ト
言ツテ居ルダケデアリマス、ソレデ其ノ所
在ヲ見付ケルコトガ困難ナノモ、ヤハリ狩
獵ガ難カシイト云フコトノ原因デアリマス、
之ニ對シマシテハ専門ノ狩獵班ヲ増加セシ
メル方法ヲ執ツテ戴キタイ、之ニ對スル所
ノ助成ガ必要デアルト思フノデアリマス、
猪ノ肉ハ大變オイシイモノデアリマスガ、
其ノ味ノ一番優良期ハ十一月カラ翌年ノ一
月中旬マデデアリマシテ、一月ノ末頃ニ
ナルト交尾期ガ來ルノデアリマス、此ノ交
尾期ガ來マシタラ、タツタ一年ニ一回ノ交
尾デアリマスルカラ、交尾ガ済ンダラ雄猪
ハ忽チ憔悴シテシマフ、體ノ脂ハスツカリ
抜ケテシマヒマス、デアリマスカラ、二月
末ニ獲リマシタラモウ肉ノ値打ハ半分モナ
イノデアリマス、デアリマスカラ高く賣レ
ナイ、此ノ高イ間ニ獵師ニ獎勵ヲシテ獲ラ
セルヨリ外ニ獲ル時ガナイノデアリマス、
夏猪ヲ獲ツタラドウカト云ツタ所ガ、青イ
草原ガ出來マシタ以上ハ、一頭ノ猪ニドレ
程ノ人ガ掛ツテモ決シテハ獲ルコトガ出
來ヌノデアリマス、デアリマスルカラ、此
ノ期間ヲ通ジテ狩獵班ニ對スル所ノ狩獵ノ
獎勵ニ努メラレ、補助助成ノ途ヲ設ケラレ

シコトヲ希望致スノデアリマス

次ニハ有益獸ノ保護ヲ必要トスルノデアリマス、有益獸トハ狐、狸、鼬、蛇等デアリマス、是等ノ保護ヲ怠ツタナラバ、所謂狐、狸が數ガ減リマシタナラバ野兎が繁殖スルノデアリマス、最近毛皮ガ非常ニ高ク賣レマスガ爲ニ狐、狸捕獲ガ盛シナリマシテ野兎ガ繁殖スルノデアリマス、野兎ガ繁殖致シマシタラ、樹苗、ソレカラ筍ヲ害スルノデアリマス、鼬、蛇ノ捕獲ヲ禁ズルコトニシナカツタナラバ野鼠ノ繁殖トナリマシテ、農作物ノ被害ヲ甚ダシカラシムルノデアリマス

次ハ獵犬ノ育成、購入ノ補助助成デアリマス、獵犬ノ良イ惡イハ狩獵ノ成績ニ大影響ヲ及ボスコトハ論ヲ俟タナイノデアリマス、近時西洋種ノ犬ヲ愛用スル者ガ多イガ爲ニ、何時ノ間ニカ混血シテシマツテ、純日本犬ガ居ラナイヤウニナツテ來タノデアリマス、是ハ洵ニ憂フベキコトデアリマス、紀州犬トカ土佐犬トカ云フヤウナ昔カラノ立派ナ犬ノ混血シテ居ラスモノヲ求メテ、サウシテ之ヲ育成スルコトニ助成ヲシテ戴イテ、純日本式ノ犬ノ繁殖ノ獎勵ニ資セラレタイノデアリマス

次ハ、此ノ猪ヲ防除致シマス所ノ猪垣、先程申シマシタ木柵トカ或ハ鐵條網ヲ作ツテ居リマス垣根、ソレカラ陷穽、是ハ岐阜縣アタリ大變良イ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、吾々ノ所ニモ昔カラ猪ノ陷穽ト云フモノハ澤山殘ツテ居リマス、ソレニ嵌マリマシタラ、其ノ人間ヲ探シニ歩イデモ、山ハ廣イノデアリマスカラ容易ニ見ツカラナイデ、終ヒニハ大切ナ人ガ死シタト云フヤウナコトモ

言傳ヘテ居ルノデアリマスガ、ヤハリ是ハ今日デアリマシタラ相當ノ設備ヲシテ、人間ノ嵌マラナイヤウニシテ作ラナケレバナラスト思ヒマス、ソレカラ雪ノ「ヤナ」デアリマスガ、雪ノ「ヤナ」ト云フノハ樹ノ枝ヲ澤山斯ウ云フ風ニコカシテ、猪ノ足ヨリ深メテ置キマス、ソレヘ雪ガ積ル、猪ハ走ツテ來テ其ノ「ヤナ」ノ中ヘ嵌ツテシマフ、スルトソレカラ出ルコトガ出來ヌモノダカラモガノ「ヤツ」テ居ルノ「一方」カラ撃ツノデアリマス、是ハ五頭モ八頭モ十頭モ固マツテ「ヤナ」ノ中ヘ嵌ツテ居ルコトガデアリマス、此ノ「ヤナ」ニ對シテハ相當ノ設備費、助成費ヲ必要トスルノデアリマス

次ニハ難カシイ問題デアリマスガ、禁獵區ノ撤廢又ハ縮少ヲ必要トスルノデアリマス、禁獵區ヲ撤廢スルト云フタラ、ソレハ社寺、林野ダトカ云フヤウナ大切ナモノモアリマスカラ、全部撤廢スルコトハ出來マセヌケレドモ、成ベク斯ウ云フモノヲ許サナイヤウニシテ戴キタイノデアリマス、一地區ニ禁獵區ヲ拵ヘテ、其ノ禁獵區ニ色々ノ種類ナンカ決メテ、是ハ鷹ノ禁獵區ニスルトカ、或ハ其ノ他雉ノ禁獵區ニスルト云フヤウナ名ノ下ニ禁獵區ヲ拵ヘテモ、猪ニシテ見タラ何ノ禁獵區デモ構ハヌ、人ガ鐵砲ヲ持ツテ入ラス地帯デアレバ安全地帯ナノデアリマスカラ、其ノ中ヘ猪ガ棲ムノデアリマス、猪ノ十里ハ人間ノ一里ニモ足ラスノデアリマス、一足飛ニ飛ブ日ニハ人ガ一町程行ク間ニ十町モ行クノデアリマス、サウシテ禁獵區ヲ安全地帯ニシテ置キマシテ、之ニ棲ヒヲシテ食物ダケハ附近ノ田圃ニ出テ、十里四方十五里四方位ノ間デ自分ハ食ミヲシテ、サウシテ又其ノ晚ニハチャ

ント禁獵區ニ歸ツテ寢ルノデアリマス、是ハ洵ニ迷惑千萬ナ話デゴザイマスカラ、何卒此ノ禁獵區ト云フモノヲオ許シニナラナイヤウニシテ戴キタイ、尤モ事由ノアルモノハ別デアリマス

次ニハ狩獵法ヲ改正シテ猪ノ狩獵ニ便宜ヲ與ヘテ戴ク所ノ法律ヲ拵ヘテ戴キタイノデアリマス、今日マデモ猪ノ被害ヲ防グ途ハ知ツテ居ル、ソレハ鐵砲ヲ持ツテ行ツテ撃チサヘスレバ宜イノデアリマス、昔ハソレガ自由デアリマシタカラ、猪ノ數モ割合少ナカツタノデアリマスガ、コンナ文明ノ世ノ中ニナツテ猪ガ殖エルト云フノモ、其ノ原因ハ狩獵法ノ爲メデアリマス、此ノ狩獵法ナルモノハ、人間ノ爲ニ拵ヘタ所ノ狩獵法ガ猪ノ味方ヲシテ、人間ヲ苦シメル法律ニナツテ居ルノデアリマスカラ、狩獵法ハ固ヨリ必要デハアリマスケレドモ、猪ノ狩獵ニモ特例ヲ設ケテ戴イテ、サウシテ猪ノ捕獲ニ便ナラシメル方法ヲ考ヘテ戴キタイノデアリマス

次ニ火藥ノ取締規則ヲ改正シテ、猪ヲ捕獲ニ關スル火藥ニハソレモ、緩和ノ途ヲ講ジテ戴キタイノデアリマス、是等モ狩獵法改正ト同意味デアリマス、其ノヤリ方ニ付キマシテハソレモ、法制局ナリ又ハ司法省ト十分御相談ヲ願ヒマシテ是非猪ヲ獲ルノ不便デナイヤウナ法ニシテ戴カスト困ツタコトニナルノデアリマス

以上猪ノ害ト希望ヲ述ベマシタガ、此ノ防除ニ付キマシテハ専門ノ知識ガ要ルノデアリマス、デアリマスカラ害獸鳥防除ニ關スル研究機關ヲ農林省內ニ設置シテ戴キタイノデアリマス、ソレカラ狩獵行政ヲ改革シテ農林省ニ專任技師及ビ職員配置竝ニ被

害各府縣經濟部ニ技師職員ノ設置ヲシテ戴イテ防除ノ指導督勵ヲ行ハレタイノデアリマス、尙ホ害獸鳥防除法ハ本年ハ御提案ニナルノデハナイカ知ラント思フテ居ツタノデアリマス、此ノ被害各府縣ニ於キマシテハ置タル聲ガアルノデアリマスカラ、定メシ農林省デハ此ノ法ヲ御制定ニナルノデハナイカト思ツテ居リマシタラ、時局柄御見合セニナツタノカモ知レマセヌガ、本年ノ議會ニハ御提出ニナツテ居ラスノデアリマス、一日モ早ク此ノ法ノ御制定ヲ希望スル次第デアリマス

以上御質問申上ゲマシタガ、ドウカ之ニ對シテ農林大臣、司法大臣竝ニ内務大臣等ヨリ此ノ法令其ノ他ニ關シテ御答辯ヲ戴キタイノデアリマスガ、御出席ガゴザイマセヌナラ、ドウカ次ノ機會ニデモ速記録ヲ御覽下サイマシテ、本委員會ノアリマスル間ニ御答辯ヲ得ルコトニ致シタイト思ヒマス、以上御質問申上ゲマス、其ノ他御質問申上ゲタイコトモアリマスガ、時間ノ制限ガアリマスノデ是ダケヲ御尋ネラ致シマス、尙ホ此ノ問題ニ付キマシテハ御答辯ノ模様ニ依リマシテ、又少シ發言ヲサシテ戴キタイト思フ次第デアリマス

○三浦(一)政府委員 只今山川サンカラ有害鳥獸驅除ノ問題ニ關シマシテ地方ノ實情ニ即シタル色々御質疑ガアリマシタ、其ノ内主要ナ點ニ付テ私カラ御答ヘ申上ゲマス、色々御意見ノ點モアリマシタガ、先ヅ其ノ法制ニ對スル問題デアリマス、御承知ノ通り狩獵法第十二條ニハ有害鳥獸驅除ノ爲ニ鳥獸ノ捕獲ガ許可サレルコトニナツテ居リマシテ、此ノ點ハ法制上缺クル所ガナイト考ヘルノデアリマス、尙ホ此ノ有害鳥獸ノ驅除ハ禁獵區

デゴザイマシテモ施行出來ルコトニナツテ
居リマス、隨ヒマシテ從來ノ有害鳥獸驅
除ノ許可ヲ致シマスル際ニ、各種ノ事情ヲ
考慮シテ、色々ナ制約等ヲ設ケテ居ツタ
云フコトデゴザイマシテ、是ハ能ク地
方廳ニ就キマシテ實情ヲ調べ、有効ニ
有害鳥獸驅除ガ出來マスルヤウニ、運用方
針ヲ定メテ參リタイト考ヘテ居リマス

第二ハ兵庫縣ノ津名郡ニ於ケル實情ニ即
シテ如何ナル有害鳥獸驅除ノ方法ヲ採ルカ
ト云フコトニ結局ナル譯デアリマスガ、是
ハ農林省トシマシテモ必要ニ應ジマシテ關
係官等ヲ派遣致シマシテ尙ホ調査致シマス、
唯ココデ考ヘマスコトハ、野猪ノ害ガ酷イ
ト云フコトニ付テハ色々ノ原因モアリマセ
ウガ、問題ハ野猪ノ習性ナリ、其ノ山岳地
帶ニ於ケル棲息狀況ト云フモノヲ見テ、之
ニ適切ナ驅除施設ヲスルト云フコトガ一番
大事デアラウト思フノデアリマス、此ノ爲
ニハ今御話ノアリマシテ通り、柵ヲ設ケル、
或ハ陷阱ヲ設ケル、サウ云フヤウナ方法ヲ
講ジテ居ル譯デアリマス、此ノ柵ヲ作リマ
スニ付テハ農産物ノ増産ヲ期待シテ居リマ
ス現在ニ於キマシテハ若干ノ助成モ致シテ
其ノ設置ヲ獎勵シテ居リマス、ソレカラ同
時ニ又猪ヲ捕リマスコトハ肉ノ需要モアリ
マスガ、現在デハ皮ヲ利用スルコトガ非常
ニ大事ニナツテ居ルノデアリマシテ、皮ノ
集荷等ニ付キマシテハ若干ノ助成ノ途モア
ル次第デアリマシテ、現在デハ猪ヲ一般ニ
狩獵スルベク獎勵シテ居ル次第デアリマス、
是等ハ相當有害鳥獸驅除ノ上ニモ寄與スル
コトト考ヘマス、唯地元ニ於キマシテハ先
程申シマシテ通り、習性ナリ棲息狀況ヲ見
ルナリシテ、結局ハ共同シテ此ノ驅除ヲ組

織化シテ參ラナケレバ有效適切ナル驅除ガ
出來ナイノデハナイカト云フ感ジガスル譯
デアリマス、是ハ此處デ想像スル譯ニ行キマ
セヌガ、關係官等ヲ派遣致シマシテ適切ナ
ル驅除ノ方法ヲ講ズルヤウニ一ツ地元ノ事
情モ取調ベテ善處致シタイト考ヘマス

ソレカラ此ノ對策トシテ御要請ニナリマ
シタ第一點ハ、狩獵者ニ對スル助成ヲシテ
欲シイト云フコトデアリマスガ、只今ドウ
モ其ノ方面ノ助成金ガゴザイマセヌカラ、
寧ロ先程申シマシタ柵ヲ設ケル、即チ防除
施設ト云フ方面ニ付キマシテハ尙ホ十分ニ
考ヘテ參リタイト思ヒマス

次ニ有益獸ノ保護、即チ狐、狸、鼬ノ保護
ヲスルヤウニト云フコトデゴザイマスガ、
是ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、是ハ非常
ニ力ヲ入レテヤツテ居リマス、殊ニ鼬ノ捕
獲禁止區域ナドハ全國六十三箇所モ設ケマ
シテ之ヲ保護ヲシテ居ル譯デアリマス、ノ
ミナラズ、狐デアルトカ、狸、鼬ナドハ有
益ナル毛皮類ノ資源デモアリマスノデ、農
林省デハ此ノ爲ニ特ニ毛皮類獸ノ養殖所ト
云フモノヲ設置シテ之ヲ配ツテ居ル譯デア
リマス、デアリマスカラ兵庫縣等デ必要ガ
アリマスレバ、寧ロ東北ノ方面ニアリマス
所カラ十分手配シテ増殖ヲサシテ參リタイ
ト考ヘテ居リマス

ソレカラ其ノ次ニハ獵犬ノ保護デアリマ
スガ、只今ノ所デハ助成金等ヲ交付スルノ
途モナイノデアリマスガ、良イ獵犬ヲ保護
シマスコトハ必要デアリマスカラ、是ハ尙
ホ今後十分研究致シタイト考ヘマス
ソレカラ狩獵デアルトカ、柵デアルトカ、
サウ云フモノニ對スル設置助成ハ先程申シ
マシタコトデアリマシテ、成ベク地方ノ要

望ニ副ヒタイト考ヘマスガ、今ノ所差當リ
直接助成金ト云フモノガアリマセヌノデ、
尙ホ今後十分ニ擴充ニ努メタイト考ヘマス
ソレカラ禁獵區ノ設定ハ成ベク止メロ、
殊ニ野猪等ノ溫床ニナツテ困ルト云フコトデ
アリマスガ、是ハ禁獵區デモ有害鳥獸ノ驅
除ガ出來マスカラ、若シ兵庫縣ニ於ケル實
情ガ左様デアツテ、禁獵區デアツテモ驅除
スル方ガ宜シイト云フ決定ガアリマシタナ
ラバ斷行サセマス、隨テ地方廳ト打合セノ
上何分ノ方法ヲ講ジタイト思ヒマス、併シ
一般ニ禁獵區ヲ止メロト云フ御説ニハ從ヒ
兼ネルノデアリマス、我ガ國デモ大切ナ鳥
獸モアリマスカラソレ等ハ保護スル、併シ
禁獵區ノ設定ニ依ツテ有害鳥獸ノ激害ヲ生
ズルト云フコトニナリマスレバ、禁獵區設
定方針ニ付テ再檢討ヲ加ヘテ、止メナケレ
バナラヌモノハ止メルト云フ風ニ考ヘテ居
リマス、兵庫縣ノ事情ヲ調べ、上ニ具體的
事實ニ付テ適當ノ措置ヲ講ジタイト思ツテ
居リマス

ソレカラ狩獵法ヲ改正シテ猪ノ驅除ニ便
宜ヲ與ヘルト云フコトデアリマスガ、現行
法規ヲ以テ十分運用ヲ宜クシテ行ケバ目的
ヲ達スルモノト私ハ確信シテ居リマス、先
程申上ゲマシタ通り地元ノ協力ト云フコト
ト、國ノ施設ト相俟チマシタナラバ、所期
ノ效果ハ達スルモノト考ヘテ居リマス

火藥取締規則デアリマスガ、是ハ當省ノ
關係デゴザイマセヌカラ、篤ト關係省ニ話ヲ
進メテ、改正セズトモサウ云フ有害鳥獸デ
ゴザイマスナラバ、火藥等ノ供給ハ出來得
ルノデハナイカト考ヘマスカラ、關係者ニ
ソレカラ斯ウ云フ害獸ノ防除其他狩獵

能ク連絡スル積リデアリマス

上ノ重要ナ問題デアルカラ、之ヲ研究ス
ル爲ニ特別ノ研究機關等ヲ設ケタラドウカ
ト云フコトデアリマスガ、篤ト一應拜聽致
シマシテ研究致シタイト思ヒマス

ソレカラ狩獵行政ノ機構ヲ整備シテ各方面
ニ狩獵ノ人員ヲ配置スルヤウニト云フコト
デアリマスガ、實ハ農林省ニモ專任ノ職員
モ居リマスシ、地方廳ニモ狩獵關係ノ者ハ配
置シテアリマスガ、何分手薄ノ爲ニ指導監
督ニ遺憾ヲ感ズルノデゴザイマス、出來ル
ダケ現在ノ人的設備ヲ動員シマシテ過誤ノ
ナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ結局歸スル所猪防除ノ法案ガ出
ルモノト期待シテ居ツタト云フコトデアリ
マスガ、只今説明申シタヤウニ、現在ノ狩
獵法ニ於キマシテモ此ノ關係ニ付キマシテ
ハ相當ノ規定ガ置イテアルバカリデナク、
其ノ運用ニ付キマシテモ私申上ゲタヤウニ
致シタナラバ、決シテ此ノ問題ガ解決出來
スト云フコトデアリタイト思ツテ居リマス、併
シナガラ狩獵法ニ於テ尙ホ足ラズト云フ具
體的ナ事情ガアリマシタナラバ、研究モ致
シ、法律改正ヲスルコトモ咨カデアリマセ
ヌカラ、其ノ點篤ト御諒承ヲ得タイト考ヘ
マス

以上大體山川サンノ御尋ネニナツタ諸點
ニ對シマシテ農林當局ノ意見ヲ申上ゲマス
○山川委員 只今御答辯ノ通り狩獵法或ハ
火藥取締規則ニ付テハ左様ニナツテ居リマ
スヤウデ、運用ノ宜シキヲ得レバ支障ナイ
ヤウニ思ヒマスケレドモ、現在ノ實際ノ狀
況デハチヤント捕獲ト威銃ト種類ニ依ツテ
警察ニ届出ヲスル、威銃ノ届出ヲ早カラ
シテ居ツテモ、其ノ認可ガ出マスノハ二十
日モ三十日モ掛リマス、既ニ猪撃チノ時期

ガ濟ンデシマツテカラ認可ガ來ルト云フコトニナツテ居リマスカラ、一々届出ラシテ、威銃ノ鐵砲ヲ持ツテ來イ、番號ハ何番ダト云フヤウナ色々難カシイコトハ言ハズ、威銃ナラ撃ツテモ差支ナイト云フ規則ヲ拵ヘル、百姓、農村民ガ一々警察ヘ行ツテソレゾレ手續ラシテ、初メテ認可ヲ受ケテ、ソレカラ火藥ノ方ヲ請求シテ、漸ク火藥ガ來タガ猪ノ時期ハ濟ンデシマツテ稻ヲ荒サレテシマツタト云フコトニ現在ハナツテ居ルノデアリマス、私モ縣農會長デアリマスガ、年々ソレハ警察ノ方ナリ或ハ縣ノ方ニ苦情ヲ申出テ居ルノデアリマスルガ、ドウシテモ親ノ規則ト云フモノガナイノデアリマスルカラ、ソレハ實行ガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ

時必要ナ食糧ノ増産ニ資スルモノト考ヘルノデゴザイマス、ドウカ害獸鳥ノ被害ト云フコトハ斯クノ如キ大キナモノダト云フコトヲ御認識ヲ得マシテ、之ニ御力添ヘノ程ヲ御願ヒスル次第デアリマス

○三善委員長 本日ハ此ノ程度ニシテ……

果シサヘスレバ宜イノデス、ソレデ一人ノ時間ヲ或ハ三十分或ハ一時間ト云フ風ニ區切ラレマスコトハ、サウ云フ點ニ於テ非常ニ遺憾ノ點ガアリハシナイカ、三十分許サレテ居ルカラ三十分ノ間ハ何ヲ言ウデモ宜イノダト云フヤウナ氣分ニナリマシタナラバ、其ノ結果ハ私ハ非常ニ宜クナイト思ヒマス、只今ノ山川君ノ猪害ニ關スル御説ノ如キハ、私共モ猪害地方ニ住ンデ居リマシテ、猪害ノ甚ダシイコトハ能ク認メテ居リ、猪害ガ極メテ顯著ナ損害アルコトハ山川君ノ仰シヤル通りデアリマス、併シナガラ本委員會ニ付託サレテ居ル議案ハ米穀需給調節特別會計法ノ改正案ト食糧管理法案デアリマス、吾々ハ此ノ兩案ニ對シテ審議ヲ盡サナクテハナラス、而モ短日月ノ委員會ニ於テ之ヲ審議スルナラバ先ヅ主題、本筋ニ付テ審議ヲシナケレバナラス、本筋ニ付テ審議ヲシ、尙ホ米穀ノ需給關係等ニ付キマシテ廣汎ナル審議モシナクテハナリマセヌケレドモ、先ヅ本筋ニ付テ審議ヲ盡シテ、然ル後ニ尙ホ餘日ガアルナラバソレ等ノ問題ヲ採上ゲル、其ノ爲ニハ私ハ豫算委員會等デハ一ツノ問題ニ質問ヲ集中シテヤツテ居ラレバヤウデアリマスカラ、全體トシテノ審議ノ能率ヲ上ゲル意味ニ於テサウ云フ風ニナスツテハドウデアラウ、例ヘバ明後日ハドウスル、其ノ次ノ日ハ何ノ問題ニ付テ審議ヲスル、ソレニ付テ他ノ人ガ既ニ發言シ答辯ガアツタラソレデ宜イノデアツテ、尙ホ審議ノ盡シテナイ所ガアルナラバ盡スト云フ風ニシテ能率ヲ上ゲタラドウカト思フノデアリマス、又戰時議會デアルカラ日曜日ヲ休マナケレバナラスト云フコトモナイダラウト思ヒマス、十分ニ審議ヲ盡ス爲

ニ夜間モ日曜モオヤリニナツテ宜シイ、今日ノ時局ニ於テハ議會モ大イニ努力ヲシテ國民ノ委託ニ應ヘル必要ガアルト思フノデス、是等ノ點ニ付テハ理事會等デ更ニ御協議ヲ願ツテ御配慮ヲ賜ハランコトヲ特ニ希望シテ置キマス

○松浦(周)委員 兩君ノ仰シヤツタコトニ

私ハ非常ニ同感デアリマスガ、本日ハ是ニテ散會デナシニ、マダ今日ハ時間モアリマスシ、是カラ殘ツタ方ガ御質問ニナレバ能率モ上ルト思ヒマス、今此ノ戰時議會デスカラ日曜モ休ム必要ハナイ、今カラ上ゲテシマフト云フヤウナコトハ洵ニドウカト思フノデアリマスガ、此ノ儘本日殘ツタ人ニ更ニヤツテ戴クヤウニサレタラドウデセウカ

○三善委員長 大體時間ノ問題ハ開會前ニ理事ノ御意見ヲ聽キマシテ、質問者ガ非常ニ多イヤウデアルカラ、成ベク多クノ人ニ質問ノ機會ヲ與ヘルガ宜イデハナイカ、一通リヤルニハ三十分程度デナイト廻ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、先ヅ一應三十分ト云フコトニ決メマシタ、決メマシタ以上ハ時間ヲ嚴守シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマシテ、成ベク三十分程度ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニシテ參リマシタ、併シナガラ皆様ノ御希望ガ時間ハモウ少シ延長シテ宜イト云フヤウナ御希望デアリマシタラ、更ニ改メテ御協議ヲシマシテ時間ノ問題ヲ決メタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ山川君ノ發言モアリマシタガ、一括シテ審議ヲ願フコトニナツテ居リマス爲ニ、或ハ一法案ニ集中セナイ場合モアルシ、又法案中一部ノ問題ニ限ルト云フコトモドン

果シサヘスレバ宜イノデス、ソレデ一人ノ時間ヲ或ハ三十分或ハ一時間ト云フ風ニ區切ラレマスコトハ、サウ云フ點ニ於テ非常ニ遺憾ノ點ガアリハシナイカ、三十分許サレテ居ルカラ三十分ノ間ハ何ヲ言ウデモ宜イノダト云フヤウナ氣分ニナリマシタナラバ、其ノ結果ハ私ハ非常ニ宜クナイト思ヒマス、只今ノ山川君ノ猪害ニ關スル御説ノ如キハ、私共モ猪害地方ニ住ンデ居リマシテ、猪害ノ甚ダシイコトハ能ク認メテ居リ、猪害ガ極メテ顯著ナ損害アルコトハ山川君ノ仰シヤル通りデアリマス、併シナガラ本委員會ニ付託サレテ居ル議案ハ米穀需給調節特別會計法ノ改正案ト食糧管理法案デアリマス、吾々ハ此ノ兩案ニ對シテ審議ヲ盡サナクテハナラス、而モ短日月ノ委員會ニ於テ之ヲ審議スルナラバ先ヅ主題、本筋ニ付テ審議ヲシナケレバナラス、本筋ニ付テ審議ヲシ、尙ホ米穀ノ需給關係等ニ付キマシテ廣汎ナル審議モシナクテハナリマセヌケレドモ、先ヅ本筋ニ付テ審議ヲ盡シテ、然ル後ニ尙ホ餘日ガアルナラバソレ等ノ問題ヲ採上ゲル、其ノ爲ニハ私ハ豫算委員會等デハ一ツノ問題ニ質問ヲ集中シテヤツテ居ラレバヤウデアリマスカラ、全體トシテノ審議ノ能率ヲ上ゲル意味ニ於テサウ云フ風ニナスツテハドウデアラウ、例ヘバ明後日ハドウスル、其ノ次ノ日ハ何ノ問題ニ付テ審議ヲスル、ソレニ付テ他ノ人ガ既ニ發言シ答辯ガアツタラソレデ宜イノデアツテ、尙ホ審議ノ盡シテナイ所ガアルナラバ盡スト云フ風ニシテ能率ヲ上ゲタラドウカト思フノデアリマス、又戰時議會デアルカラ日曜日ヲ休マナケレバナラスト云フコトモナイダラウト思ヒマス、十分ニ審議ヲ盡ス爲

○三善委員長 大體時間ノ問題ハ開會前ニ理事ノ御意見ヲ聽キマシテ、質問者ガ非常ニ多イヤウデアルカラ、成ベク多クノ人ニ質問ノ機會ヲ與ヘルガ宜イデハナイカ、一通リヤルニハ三十分程度デナイト廻ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、先ヅ一應三十分ト云フコトニ決メマシタ、決メマシタ以上ハ時間ヲ嚴守シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマシテ、成ベク三十分程度ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニシテ參リマシタ、併シナガラ皆様ノ御希望ガ時間ハモウ少シ延長シテ宜イト云フヤウナ御希望デアリマシタラ、更ニ改メテ御協議ヲシマシテ時間ノ問題ヲ決メタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ山川君ノ發言モアリマシタガ、一括シテ審議ヲ願フコトニナツテ居リマス爲ニ、或ハ一法案ニ集中セナイ場合モアルシ、又法案中一部ノ問題ニ限ルト云フコトモドン

○三善委員長 大體時間ノ問題ハ開會前ニ理事ノ御意見ヲ聽キマシテ、質問者ガ非常ニ多イヤウデアルカラ、成ベク多クノ人ニ質問ノ機會ヲ與ヘルガ宜イデハナイカ、一通リヤルニハ三十分程度デナイト廻ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、先ヅ一應三十分ト云フコトニ決メマシタ、決メマシタ以上ハ時間ヲ嚴守シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマシテ、成ベク三十分程度ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニシテ參リマシタ、併シナガラ皆様ノ御希望ガ時間ハモウ少シ延長シテ宜イト云フヤウナ御希望デアリマシタラ、更ニ改メテ御協議ヲシマシテ時間ノ問題ヲ決メタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ山川君ノ發言モアリマシタガ、一括シテ審議ヲ願フコトニナツテ居リマス爲ニ、或ハ一法案ニ集中セナイ場合モアルシ、又法案中一部ノ問題ニ限ルト云フコトモドン

金ノ力ニ依ツテ今申上ゲマシタヤウナ猪ヲ驅除スルニ必要ナル所ノ施設ニ對シテ補助ヲ戴ク、斯ウ云フ風ニ是非ヤツテ戴キタイノデアリマス、何卒次ノ議會ニハ必ず是等ノ強イ所ノ法律ヲ拵ヘテ貰ヒマシテ、農村ノ今日ノ鳥害ニ對スル又其ノ他ノ害獸ニ對スル——鳥ノ如キモ大變ナ被害デアリマス、雀モ一年ニ五十万石ノ米ヲ食フト云フノデリマス、アノ小サイ雀ガ五十万石ノ米ヲ食フトデアリマス、ソレデアリマスカラ、ドウカ一ツ雀ヲ霰彈デ射ツテモ構ハナイ、ソレニ對スル火藥取締ヲ緩和スル、斯ウ云フ風ニシテ戴キマシタナラバ、今日戰

時必要ナ食糧ノ増産ニ資スルモノト考ヘルノデゴザイマス、ドウカ害獸鳥ノ被害ト云フコトハ斯クノ如キ大キナモノダト云フコトヲ御認識ヲ得マシテ、之ニ御力添ヘノ程ヲ御願ヒスル次第デアリマス

○西川委員 只今淺沼君ノ御意見ニ私モ同感デアリマスルガ、私共ハ自分ガ個人トシテ斯ウ云フ發言ヲシナクテハナラスト云フ希望ハ持ツテ居ラヌノデアリマス、委員會全體トシテ、議會全體トシテ審議ノ職責ヲ

○三善委員長 大體時間ノ問題ハ開會前ニ理事ノ御意見ヲ聽キマシテ、質問者ガ非常ニ多イヤウデアルカラ、成ベク多クノ人ニ質問ノ機會ヲ與ヘルガ宜イデハナイカ、一通リヤルニハ三十分程度デナイト廻ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、先ヅ一應三十分ト云フコトニ決メマシタ、決メマシタ以上ハ時間ヲ嚴守シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマシテ、成ベク三十分程度ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニシテ參リマシタ、併シナガラ皆様ノ御希望ガ時間ハモウ少シ延長シテ宜イト云フヤウナ御希望デアリマシタラ、更ニ改メテ御協議ヲシマシテ時間ノ問題ヲ決メタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ山川君ノ發言モアリマシタガ、一括シテ審議ヲ願フコトニナツテ居リマス爲ニ、或ハ一法案ニ集中セナイ場合モアルシ、又法案中一部ノ問題ニ限ルト云フコトモドン

○三善委員長 大體時間ノ問題ハ開會前ニ理事ノ御意見ヲ聽キマシテ、質問者ガ非常ニ多イヤウデアルカラ、成ベク多クノ人ニ質問ノ機會ヲ與ヘルガ宜イデハナイカ、一通リヤルニハ三十分程度デナイト廻ラナイノデハナイカ、斯ウ云フ御意見デアリマシタカラ、先ヅ一應三十分ト云フコトニ決メマシタ、決メマシタ以上ハ時間ヲ嚴守シテ貰ハナケレバナラスト思ヒマシテ、成ベク三十分程度ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニシテ參リマシタ、併シナガラ皆様ノ御希望ガ時間ハモウ少シ延長シテ宜イト云フヤウナ御希望デアリマシタラ、更ニ改メテ御協議ヲシマシテ時間ノ問題ヲ決メタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ山川君ノ發言モアリマシタガ、一括シテ審議ヲ願フコトニナツテ居リマス爲ニ、或ハ一法案ニ集中セナイ場合モアルシ、又法案中一部ノ問題ニ限ルト云フコトモドン

ナモノカト思ヒマスノデ、成ベク御打合せノ上集中ガ出來レバ結構ダト思ヒマスケレドモ、前例モアルコトデアリマスシ、先ヅ法案全部ヲ一括シテ審議ヲ願フト云フコトニナツテ居リマスカラ、其ノ點ハ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ時間ノ問題等ニ付キマシテハ色々御意見ノ點モアリマスカラ、十分協議ヲシテ決定致シタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ更ニ時間ヲ延長シテヤツテハドウカト云フヤウナ御意見モアリマシタガ、大體質問者ノ御準備モアルト思ヒマスカラ、本日ハ此ノ程度ニシテ散會致シタイト思ヒマス、明日ハ日曜デアリマスカラ休會致シマシテ、明後日二十六日月曜日午前十時カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時十分散會

〔參照〕

北(勝)委員、要求ノ參考資料

一、銘柄別及等級別搗減リニ關スル調査及搗精加工料ニ關スル調査

二、一俵當リ玄米重量制ノ重量ト白米ノ重量基準

山川委員要求ノ參考資料

一、害鳥獸被害中野猪ノ被害府縣名

二、同上野猪被害府縣別金額

三、害鳥獸被害全國總額

四、農業生産統制令

高田委員要求ノ參考資料

一、大麥、小麥、裸麥ノ生産費(昭和十六年生産)尙昭和十二年産ノ調モアラバ提出ヲ望ム

二、味噌、醬油ノ配給定量、職業別、年

齡別、地域別ニ異ナレバ異ナレル毎ニ示サレタシ

三、右定量ハ今日迄ノ消費量ヨリ相當減

ゼルガ如シ然ラバ其原料タル鹽、大豆、

小麥、大麥ノ消費量ヲ相當減ズルモノ

ト思ハルルガ其減少豫定數量如何

四、米、麥ノ各府縣別消費制當額昭和十

六年別

七年別

平野(力)委員要求ノ參考資料

一、不在地主ノ所有面積各縣別

二、昭和十二年以降小作調停法ニヨリ調

停セラレタル事件數、反別、關係人員、

各年度別

三、甘藷各府縣別集荷數量及賣渡價額

四、各府縣別買入價額

西川委員要求ノ參考資料

一、命令案要綱

二、日本米穀株式會社考課狀

三、全國米穀商業組合ノ内容ヲ可及的詳

知シ得ル資料

森田(重)委員要求ノ參考資料

一、内外地別米、麥、大豆、雜穀、甘藷、

馬鈴薯昨年度生産高本年度ノ増産豫定

計畫高

二、右ノ昨年度ノ配給統制ノ實情ト本年度

ノ需給計畫

三、魚肉、獸肉等ノ右一、同縣ノ調査

四、肥料ノ肥料配給ノ本年度ト昨年度ノ

實數及其對比

五、開拓營團ノ本年度ノ計畫

六、昨年度ノ荒廢地ノ面積總數、

本年度ノ豫想

七、農業經營上機械化ノ傾向ヲ知り得ル

統計昭和十二年度ヨリ十六年度マデノ

統制(概數)

八、土地ノ交換分合ノ具體實例ヲ明ニシ

得ル統制

九、學生、生徒ノ食糧増産ニ協力シタル

實情ノ統計

十、米麥ヲ中心トシテ食糧ノ個人別ノ割

當標準ノ各縣ノ狀況ヲ知り得ル統制業

種別標準

十一、食糧増收増産ニ關スル十七年度一

般會計豫算額尙追加豫算發案ノ見込額

前川委員要求ノ參考資料

一、大東亞共榮圈內ニ於ケル米、麥、甘

藷、馬鈴薯等ノ食糧生産物、麻、綿等

ノ纖維作物及飼料作物ノ耕作反別、生

産額、輸移出入先ヲ尺貫法ニヨツテ各

國別ニ明示サレ度シ

二、内地ニ於ケル工場等ニヨリ潰地ノ過

去五年間ニ於ケル數字

森(幸)委員要求ノ參考資料

一、既往二十年間ノ各年度農耕地ノ増減

反別米麥、收穫高、總計、反當リ

二、同期間農耕者ノ異動、農家一戸當リ

耕地

三、米檢査標準査定ノ方法、各府縣別

四、本法案ニ於ケル勅令命令ノ内容

松本(治)委員要求ノ參考資料

一、昭和十一年ヨリ十六年ニ至ル毎年度

別各種肥料ノ生産高

二、農村人口ノ移動表(昭和十一年ヨリ

十六年度)

三、各職業別米ノ配給量

野溝委員要求ノ參考資料
一、全國ノ農地委員ガ取扱ツタ小作紛議
件數及未解決數

昭和十七年一月二十四日印刷

昭和十七年一月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局